1 準 備 編

2 使ってみよう編

3 応 用 編

4 各種設定編

5 接 続 編

DIGITAL CAMERA

FinePix E510

使 用 説 明 書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラ
ファインピックス E510の使い方がまとめられています。
内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。
http://www.fujifilm.co.jp/または http://www.finepix.com/

BL00423-100(1) J

目　次

1 準備編

2 使ってみよう編

3 応用編

4 各種設定編

5 接続編

1 2 3 4 5

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを
大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。
＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意
あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録された xD-ピクチャーカード の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について
液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。
●皮膚に付着した場合：
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
●目に入った場合：
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
●飲み込んだ場合：
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意
●本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
●本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて
本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について
● xD-Picture Card、xD-Picture Card™、xD-ピクチャーカード™は富士写真フイルム（株）の商標です。
●Macintosh、iMac、iBook、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Computer, Inc.の商標です。
●Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Windows の正式名称は、Microsoft® Windows® Operating System です。
●その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

カメラの特長/付属品

カメラの特長

- 有効画素数520万画素CCDとフジノン光学式3.2倍ズームレンズによる高画質
- 撮影の幅を広げるマニュアル撮影、シーンポジション
- 2.0型約15.4万画素低温ポリシリコンTFTカラー液晶モニター
- FinePix Photo mode（ファインピックスフォトモード）
  静止画撮影中にフォトモード“*F*”ボタンを押すと、ピクセル（記録画素数）、感度やFinePixカラーの設定画面を直接呼び出すことができ、簡単に設定の変更が可能です。
  再生中に押すと、プリント予約（DPOF）の設定ができ、プリントするコマや枚数を簡単に設定することが可能です。
- 別売のテレコンバージョンレンズ、ワイドコンバージョンレンズ装着可能
  （別途、別売のアダプターリングが必要です）

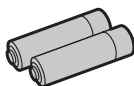
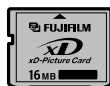
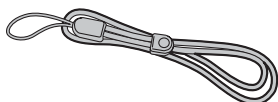
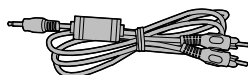
付属品

- 単3形アルカリ乾電池 LR6（2本）

- xD-ピクチャーカード 16MB（1枚）
  付属品：専用ケース（1個）

- ストラップ（1本）

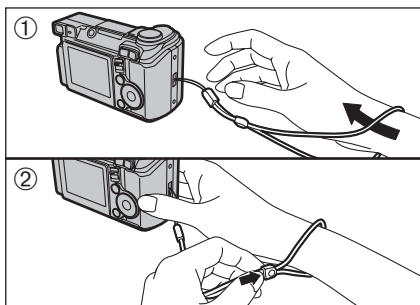
- 端子カバー（1個）

- FinePix E510専用
  A/V（音声／映像）ケーブル（1本）約1.2m

- FinePix E510専用
  USBケーブル（1本）約1.2m

- CD-ROM（1枚）
  Software for FinePix AX

- 使用説明書（本書1部）
- 安全上のご注意（1部）
- 保証書（1部）

各部の名称

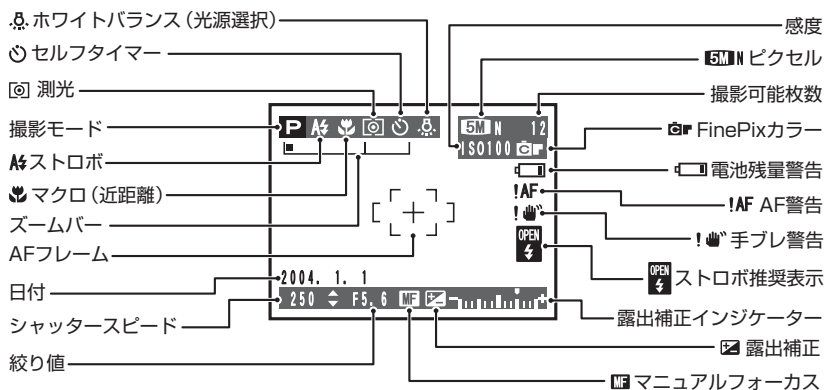
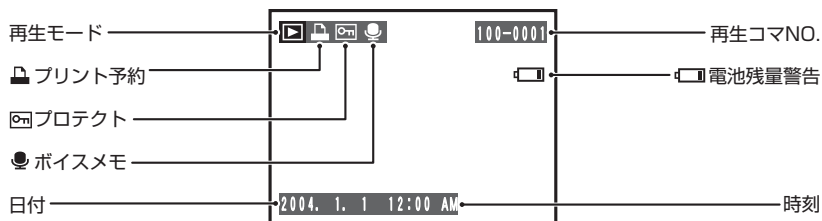
＊（　）内のページに詳しい説明があります。

ストラップの取り付け

①②の順にストラップを取り付けます。

ストラップの使い方

①ストラップに手首を通します。
②長さ調節止め具をスライドし、落とさないように手首に固定します。

液晶モニターの文字表示例

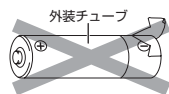
■静止画撮影モード

■再生モード

電池とメディアを入れます

使用する電池

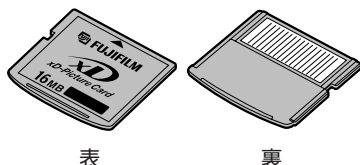
●単3形アルカリ乾電池（2本）、または単3形ニッケル水素電池（2本：別売）

! 単3形アルカリ乾電池は付属のものと同銘柄のご使用をおすすめします。

◆電池について◆

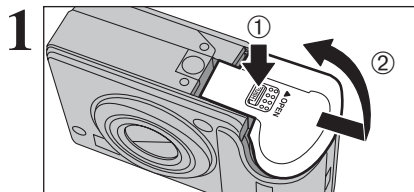
- 電池の液もれ、発熱により重大な事故の原因になるため、以下の電池は絶対に使用しないでください。
  1. 外装チューブが破れたりはがれたりしている電池
  2. 種類の違う電池や、新しい電池と使用した電池を混ぜての使用
- マンガン乾電池やニカド電池は使用しないでください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると、使用可能時間が極端に短くなることがあります。
- 単3形アルカリ乾電池（以下アルカリ乾電池）は銘柄により使用可能時間に差があり、付属のアルカリ乾電池に比べ、使用可能時間が短い場合があります。また、アルカリ乾電池はその特性上、低温環境（0℃～＋10℃）では使用時間が短くなるため、単3形ニッケル水素電池の使用をおすすめします。
- 単3形ニッケル水素電池は、別売の充電器で充電してください。
- 電池についてのご注意は84、85ページをご参照ください。
- お買い上げ時や長い間使用しなかった単3形ニッケル水素電池は、使用可能時間が短くなることがあります。詳細については85ページをご参照ください。

使用する xD-ピクチャーカード ™（別売）

●DPC-16（16MB）　●DPC-64（64MB）　●DPC-256（256MB）
●DPC-32（32MB）　●DPC-128（128MB）　●DPC-512（512MB）

表　　裏

! 本カメラでの動作保証は弊社製 xD-ピクチャーカード のみとなります。

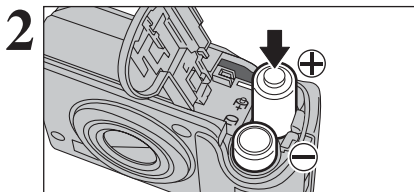
! xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

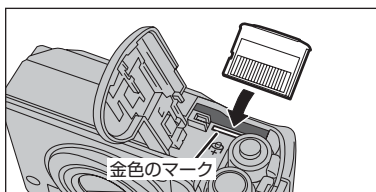
! xD-ピクチャーカード についてのご注意は87ページをご参照ください。

1

電源が切れていること（ファインダーランプが消灯していること）を確認します。
①電池カバーロック解除ボタンを押しながら、
②電池カバーを開けます。

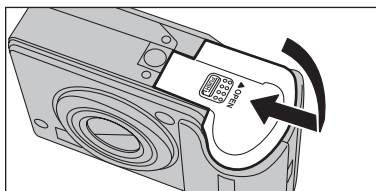
! 電源が入った状態で電池カバーを開けると、電源が切れます。
! 電池カバーに無理な力を加えないでください。

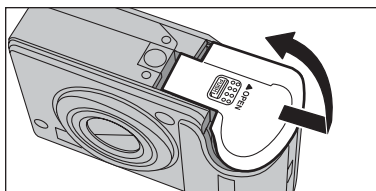
電池カバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。 xD-ピクチャーカード または画像ファイルなどが壊れることがあります。

2

電池を表示に従って正しく入れます。

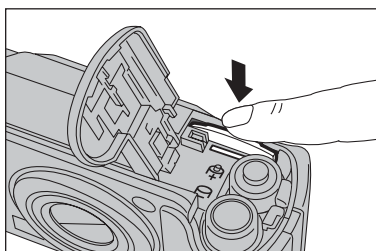
3

xD-ピクチャーカードスロットの金色のマークと、 **xD-ピクチャーカード** の金色の接触面を同じ向きに合わせて、確実に奥まで差し込みます。

❗ xD-ピクチャーカード の向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。

4

電池カバーを閉めます。

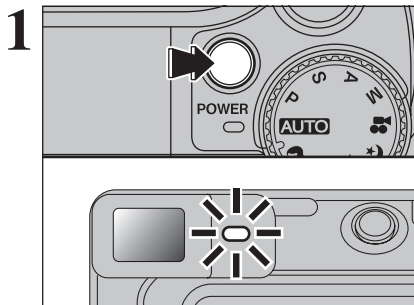
◆電池を交換したいときは◆

必ず電源を切ってから電池カバーを開け電池を取り出してください。

❗ 電池カバーを開閉するときは、電池を落とさないようにご注意ください。

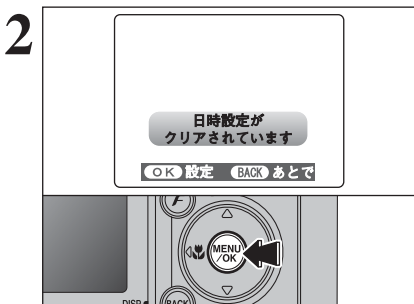
◆ xD-ピクチャーカード を交換したいときは◆

xD-ピクチャーカード を押し込んだあと静かに指を戻すと、ロックが外れて xD-ピクチャーカード が押し出されます。
押し出されたあと、 xD-ピクチャーカード を引き出すことができます。

❗ xD-ピクチャーカード を保管するときは、専用ケースまたは専用キャリングケースに入れてください。
❗ ロックが外れた直後に xD-ピクチャーカード から急に指を離すと、 xD-ピクチャーカード が飛び出す場合がありますのでご注意ください。

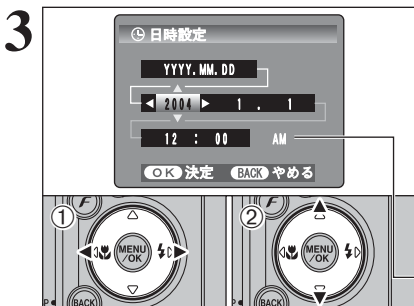
電源のON/OFF、日時の設定

1

“POWER”（電源）ボタンを押すと電源が入ります。電源を入れるとファインダーランプ［緑］が点灯します。
もう一度POWER（電源）ボタンを押すと電源が切れます。

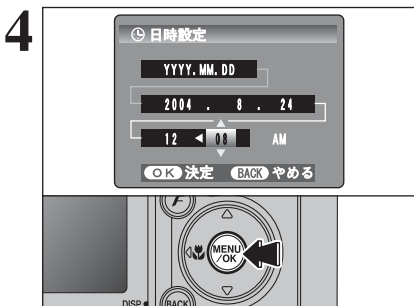
“📷”撮影モードのときはレンズ部が動き、レンズカバーが開きます。精密部品のため、レンズ部を手で押さえないでください。
“フォーカスエラー”“ズームエラー”が表示され誤作動や故障の原因になります。
また、レンズに指紋がつかないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

2

ご購入後初めて電源を入れると、日時がクリアされています。“MENU/OK”ボタンを押して日時を設定します。

- 確認画面（左図）が表示されない場合は、「日時の修正」（➡11ページ）を参照して、日時を確認、修正してください。
- 電池を取り外してカメラを長期間保管したときも確認画面が表示されます。
- あとで設定するときは“BACK（DISP）”ボタンを押します。
- 日時を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。

3

①“◀▶”で年、月、日、時、分を選びます。
②“▲▼”で設定します。

- “▲”または“▼”を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時刻表示で“12：00”を越えると、自動的にAM（午前）／PM（午後）が切り換わります。

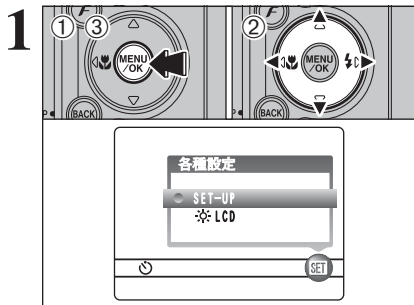
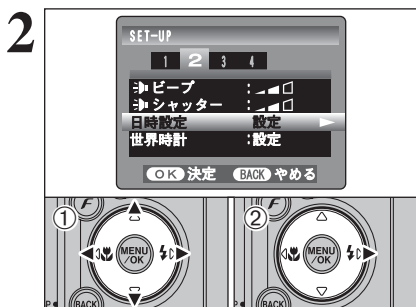
4

日時を設定したら、必ず“MENU/OK”ボタンを押します。
決定すると撮影または再生モードになります。

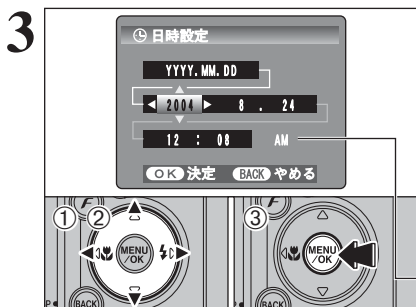
- ご購入時および長時間電池を抜いて放置したあとは、日時設定などの各種設定がクリアされてしまいます。各種設定は、ACパワーアダプターを接続または電池を入れて約30分以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約3時間保持されます。

日時の修正、日付の並び順の変更

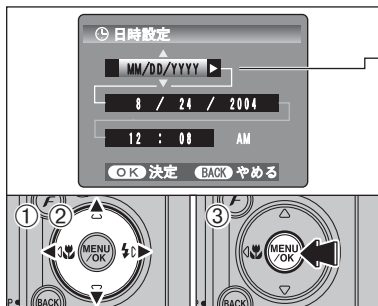
1

①"MENU/OK" ボタンを押します。
②"◀▶" で "SET" 各種設定を選び、"▲▼" で "SET-UP" を選びます。
③"MENU/OK" ボタンを押します。

2

①"◀▶" で見出し番号2に切り換え、"▲▼" で "日時設定" を選びます。
②"▶" を押します。

3

日時を修正するには

①"◀▶" で年、月、日、時、分を選びます。
②"▲▼" で設定します。
③設定が終了したら、必ず "MENU/OK" ボタンを押します。

- "▲" または "▼" を押し続けると数字が連続して変わります。
- 時刻表示で "12：00" を越えると、自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。

日付の並び順を変更するには

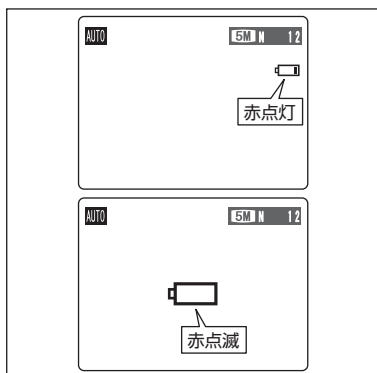
①"◀▶" で "日付の並び順" を選びます。
②"▲▼" で並び順を設定します。設定については下記の表を参照してください。
③設定が終了したら、必ず "MENU/OK" ボタンを押します。

日付の並び順	説　明
YYYY.MM.DD	「年.月.日」の順に並びます。
MM/DD/YYYY	「月／日／年」の順に並びます。
DD.MM.YYYY	「日.月.年」の順に並びます。

電池残量の確認

電源を入れ、電池残量を確認します。

電池残量表示		
①	表示なし＊	
②		赤点灯
③		赤点滅

①電池の残量はあります。
②“ ”赤点灯：電池の残量が少なくなっています。新しい電池を準備してください。
③“ ”赤点滅：電池の残量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。電池を交換してください。

“ ”は液晶モニターの右端に小さく表示されます。
“ ”は液晶モニターに大きく表示されます。

- 上記は撮影モードでの目安です。モードや電池の種類によっては“ ”から“ ”になるまでの時間が短くなることがあります。
- 温度が低いところで使用したとき、電池の特性上電池残量不足“ ”が早く表示される場合があります。故障ではありません。電池をポケットなどで温めて使用することをおすすめします。

＊電池残量表示

1）カメラの動作状態により消費電力は大きく変化します。このために、再生モードでは電池残量表示“ ”、“ ”が出ていなくても、撮影モードでは表示が出る場合があります。
2）電池の消耗の度合いや電池の種類によっては、電池残量表示が出ないでカメラの電源が切れることがあります。一度、電池切れになった電池を再使用した場合にはこの現象が起こりやすくなります。

上記の2)の場合は、新しい電池または充電済みの電池にすぐに交換してください。

◆パワーセーブ機能◆

機能有効時は、約60秒間操作をしないと液晶モニターが消え（スリープ）、消費電力を抑えます（➡69ページ）。2分間（5分間）操作しないと自動的に電源が切れます。電源を入れ直すには、“POWER”（電源）ボタンを押します。

基本操作ガイド

準備編をお読みいただき、撮影の準備が終わっていることと思います。
使ってみよう編では、「撮る」➡「見る」➡「消す」という基本操作を説明していきます。

本カメラの機能について説明します。

次ページにつづく

● ズームボタン

撮影時：望遠にするには“**T**”側を押します。
広角にするには“**W**”側を押します。
再生時：拡大するには“**T**”側を押します。
等倍にするには“**W**”側を押します。

● フォトモード（*F*）ボタン

撮影時：ピクセル（記録画素数）、感度、FinePixカラーを設定できます。
再生時：プリント予約（DPOF）を設定できます。

● ◀▶ボタン

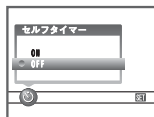
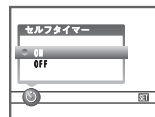
撮影時：◀ボタン　マクロ（🌷、🌷）のON/OFF
▶ボタン　ストロボ（⚡）の設定
再生時：コマの移動、動画のコマ送り

● BACK（DISP）ボタン

BACK：操作を途中でやめるときなどに使用します。
DISP：液晶モニターの表示を切り換えます。

● メニューの操作

❶ **メニューの表示**
“MENU/OK” ボタンを押します。

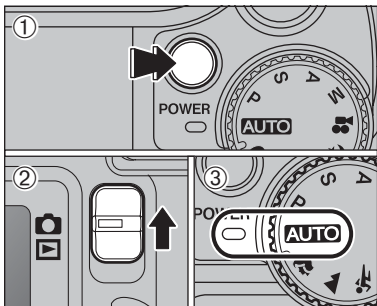
❷ **メニューの選択**
十字ボタンの左、右を押します。

❸ **設定の選択**
十字ボタンの上、下を押します。

❹ **設定の決定**
“MENU/OK”ボタンを押します。

◆ガイダンス（案内）表示について◆

画面下部に、次のステップに進むためのガイダンス（案内）が表示されますので、対応するボタンを押してください。
例えば右のイラストの場合、トリミングするには“MENU/OK” ボタンを押します。

使用説明書では、上、下、左、右を三角マークで表します。
上、下のときは “▲▼” となります。左、右のときは “◀▶” となります。

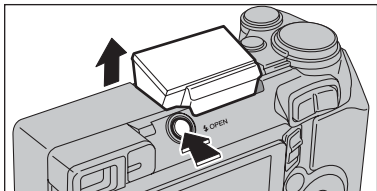
静止画モード 静止画を撮影してみましょう（AUTO オート撮影）

1

①“POWER”（電源）ボタンを押して電源を入れます。
②モードスイッチを“📷”に合わせます。
③モードダイヤルを“AUTO”に合わせます。

●撮影可能距離
約60cm〜無限遠（∞）

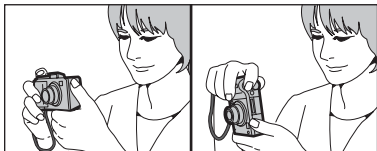
約60cmより近づいた場合にはマクロに設定してください（➡35ページ）。

“カードエラー”“フォーマットされていません”“空き容量がありません”“カードがありません”が表示された場合は、88ページをご参照ください。

2

ストロボポップアップボタンを押して、ストロボをポップアップします。

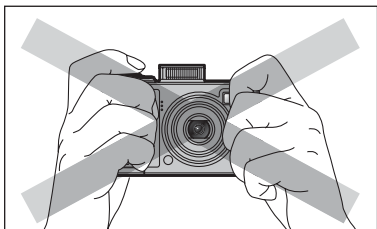
ストロボをポップアップしたときや、ストロボ撮影をした場合、ストロボを充電するために映像が消えて黒い画面になる場合があります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。

雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボ発光禁止での撮影をお試しください。

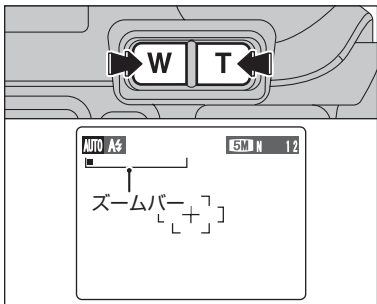
3

両脇を締め、両手でカメラを構えます。
右手の親指はズーム操作しやすい位置に置きます。

撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。特に、暗い場所でストロボ発光禁止にして撮影する場合は手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

液晶モニターの下端に明るさのムラがありますが、故障ではありません。撮影した画像には影響ありません。

4

レンズ、ストロボ、ストロボ調光センサーに、指やストラップが掛からないようにしてください。指やストラップが掛かると、適正な明るさ（露出）で撮影ができないことがあります。

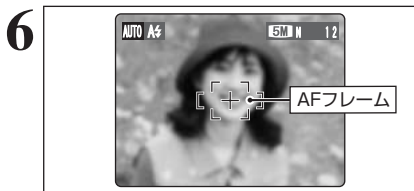
レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は84ページを参照してレンズをきれいにしてください。

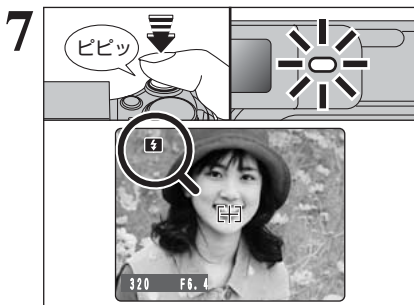
5

被写体を大きく写したいときは、“T”（望遠ズーム）ボタンを押します。広い範囲を写したいときは、“W”（広角ズーム）ボタンを押します。このとき液晶モニターに“ズームバー”が表示されます。

●光学ズーム焦点距離（35mmフィルム換算）
約28mm〜約91mm相当
最大ズーム倍率 3.2倍

光学ズームとデジタルズーム（➡20ページ）の切り換わり時は、いったんズームが止まります。もう一度同じ方向にズームボタンを押すと切り換わります。

次ページにつづく

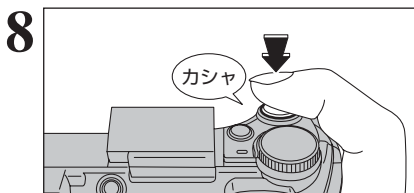
6

液晶モニターを使って、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

- 撮影前に液晶モニターで見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて、再生してご確認ください（➡22ページ）。
- 明るい屋外や薄暗いシーンなどでは、液晶モニターで被写体が確認しにくいことがあります。その場合、ファインダーの使用をおすすめします。

7

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います。そのとき液晶モニターのAFフレームが小さくなり、シャッタースピード/絞り値が決定されます（ファインダーランプ [緑] が点滅から点灯に変わります）。

- “ピピッ”と音が鳴らずに液晶モニターに“!AF”が表示されたときは、ピントが合っていません。
- シャッターボタンを半押しすると、一時的に液晶モニターの映像が止まりますが記録される画像とは異なります。
- “!AF”が表示された場合（暗くてピントが合わないなど）、被写体から2m程度離れて撮影してください。

ストロボが発光するときは、液晶モニターに“⚡”が表示されます。

8

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込む（全押し）と、“カシャ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

- シャッターボタンを押した瞬間から、一瞬遅れて撮影されますので、必要に応じて再生してご確認ください。
- シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。
- 撮影するとファインダーランプが橙色に点灯し（撮影不可）、その後緑色に変わると撮影できます。
- ストロボ撮影をした場合、ストロボを充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。
- 警告表示については88、89ページをご参照ください。

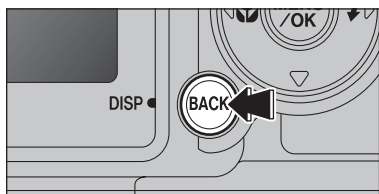
◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件、被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

- 鏡、車のボディなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が暗いとき
- 高速で移動する被写体
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 液晶モニター中央付近に主被写体の他に明暗差がはっきりしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

このような場合はAF/AEロック（➡19ページ）をお使いください。

ファインダー撮影について

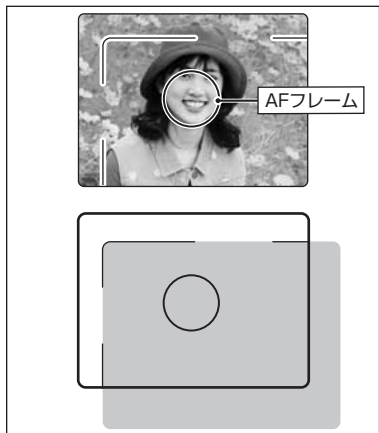
1

ファインダー撮影するときは “BACK（DISP）” ボタンを押して液晶モニターをOFFにします（OFFにすると電池が長持ちします）。

マクロ撮影時はファインダー撮影できません。

2

両脇を締め、両手でカメラを構えます。
右手の親指はズーム操作しやすい位置に置きます。

撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。特に、暗い場所でストロボ発光禁止にして撮影する場合は手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

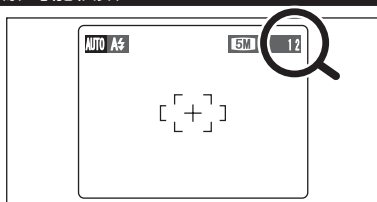
3

ファインダー中央のAFフレームで被写体をねらいピントを合わせます。
被写体までの距離が約0.6m〜約1.5mの場合、図の■の範囲が撮影されます。

撮影範囲の中心を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

ファインダーランプ表示について

表 示	状 態
緑点灯	準備完了（撮影可能）
緑点滅	AF、AE動作中または手ブレ、AF警告（撮影可能）
緑、橙の交互点滅	xD-ピクチャーカード に記録中（撮影可能）
橙点灯	xD-ピクチャーカード に記録中（撮影不可）
橙点滅	ストロボ充電中（ストロボ発光しません）
緑点滅（1秒間隔）	パワーセーブ中（➡69ページ）
赤点滅	● xD-ピクチャーカード についての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、空き容量がない、 xD-ピクチャーカード 異常 ● レンズ動作異常

＊液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡88、89ページ）。

撮影可能枚数について

液晶モニターに撮影可能枚数が表示されます。

- ピクセル設定の変更は、40ページをご参照ください。
- 工場出荷時の“”ピクセルは“5M N”です。

■ xD-ピクチャーカード 標準撮影枚数

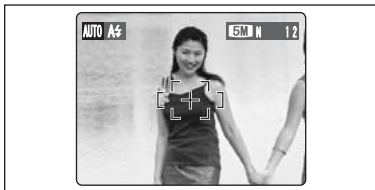
新しい xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットした状態で表示される標準的な枚数です。 xD-ピクチャーカード の容量が大きくなるほど標準的な枚数と、実際に表示される枚数に差が出ることがあります。
また、被写体によって記録されるデータ量が一定ではなく、撮影枚数が減らなかったり、2コマ減ったりします。そのため、実際に記録可能な枚数が多くなることや少なくなることがあります。

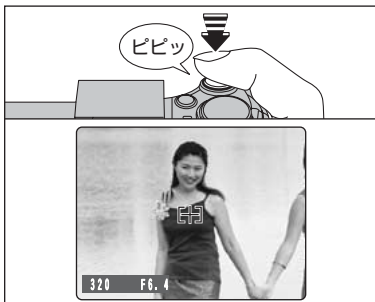
ピクセル	5M F	5M N	3M	2M	03M
記録画素数	2592×1944（約504万）	2592×1944（約504万）	2048×1536（約315万）	1600×1200（約192万）	640×480（約31万）
DPC-16（16MB）	6	12	19	25	122
DPC-32（32MB）	12	25	40	50	247
DPC-64（64MB）	25	50	81	101	497
DPC-128（128MB）	51	102	162	204	997
DPC-256（256MB）	102	204	325	409	1997
DPC-512（512MB）	205	409	651	818	3993

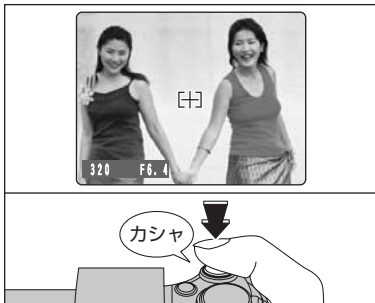
AF/AEロック撮影

1

このような構図では被写体（この場合は人物）がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

2

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

3

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います。そのとき液晶モニターのAFフレームが小さくなり、シャッタースピード/絞り値が決定されます（ファインダーランプ[緑]は点滅から点灯に変わります）。

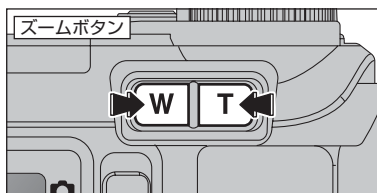
4

シャッターボタンを半押し（AF/AEロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

- AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
- AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

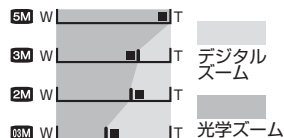
◆AF（オートフォーカス）/AE（オートエクスポージャー）ロック◆

このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定（AF/AEロック）します。
液晶モニターの端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影するときれいに撮影できます。

2 使ってみよう編

ズーム撮影（光学ズーム、デジタルズーム）

ズームボタンを押すとズームできます。
ピクセル（記録画素数）設定が“3M”以下の場合はデジタルズームできます。
光学ズームとデジタルズームを切り換える際に、いったんズームバーの“■”が停止します。もう一度同じ方向に押すと、“■”が動いて切り換わります。

- ピクセル（記録画素数）設定の変更（➡40ページ）。
- ズームしてピントがずれた場合、シャッターボタンを半押ししてください。

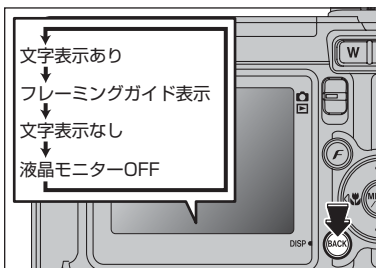
ズームバー表示

ズームバーの“■”の位置でズームの状態が分かります。
区切りより左の場合は光学ズーム、区切りより右の場合はデジタルズームです。

●光学ズーム焦点距離＊
約28mm〜約91mm相当
最大ズーム倍率 3.2倍

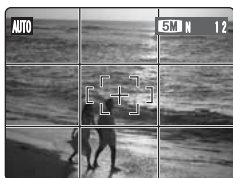
●デジタルズーム焦点距離＊

	デジタルズーム焦点距離	最大ズーム倍率
5M	使用できません	
3M	約91mm〜約114mm相当	約1.3倍
2M	約91mm〜約145mm相当	約1.6倍
03M	約91mm〜約351mm相当	約3.9倍

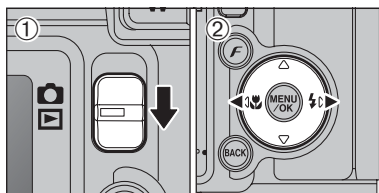
＊35mmフィルム換算

ベストフレーミング

静止画撮影モードで設定できます。
“BACK(DISP)”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“BACK (DISP)” ボタンを押して“フレーミングガイド” を表示します。

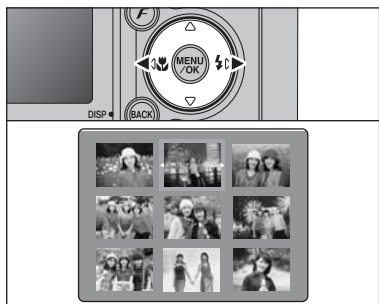
◆重要◆
必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

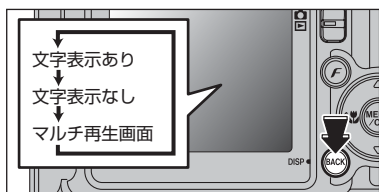
縦横3分割フレーム

主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。
被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

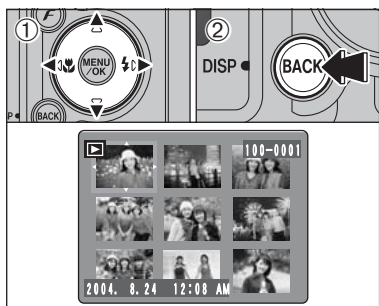
- フレーミングガイドは画像に記録されません。
- 縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

画像を見るには（▶ 再生）

1コマ再生

①モードスイッチを“▶”に合わせます。
②“▶”順送り、“◀”逆送りで画像を見ることができます。

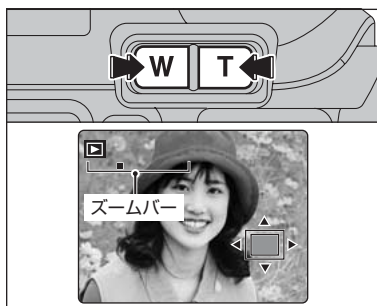
❗モードスイッチを“▶”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。
❗再生時にレンズが出ているときは、約6秒間操作しないとレンズ保護のため、レンズが収納されます。

画像の選択

再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると、一覧表示画面で画像の選択ができます。

マルチ再生

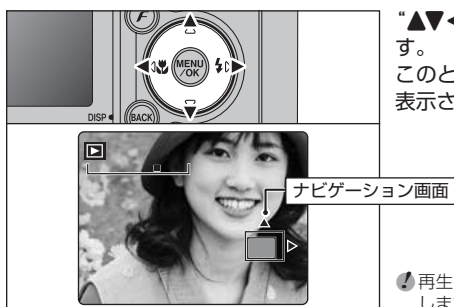
再生モードでは“BACK（DISP）”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“BACK（DISP）”ボタンを押してマルチ再生（9コマ）にします。

①“▲▼◀▶”でカーソル（橙色の枠）を動かして、コマを選べます。数回“▲”か“▼”を押すと次のページに切り換わります。
②もう一度“BACK（DISP）”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

❗液晶モニターの文字表示は約3秒後に消えます。

◆再生できる静止画について◆

本機で記録した静止画、または xD-ピクチャーカード 対応の弊社製デジタルカメラで記録した静止画（一部非圧縮画像を除く）が再生できます。なお本機以外のカメラで撮影した静止画はきれいに再生できない場合や、再生ズームができない場合があります。

再生ズーム

1コマ再生中にズームボタンを押すと静止画をズーム（拡大）します。このとき“ズームバー”が表示されます。

❗再生ズームを解除するには“BACK（DISP）”ボタンを押します。
❗再生ズーム中はマルチ再生はできません。

“▲▼◀▶”を押すと、見える範囲を移動できます。
このときナビゲーション画面に現在の表示位置が表示されます。

❗再生ズームを解除するには“BACK（DISP）”ボタンを押します。

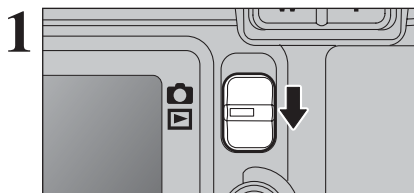
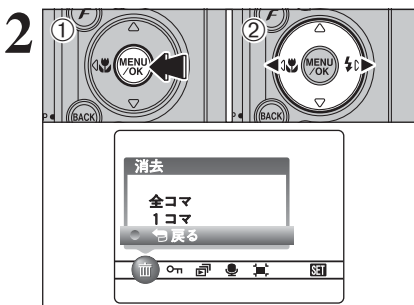
■ズーム倍率

ピクセル	最大ズーム倍率
5M（2592×1944ピクセル）	約16.2倍
3M（2048×1536ピクセル）	約12.8倍
2M（1600×1200ピクセル）	約10.0倍
03M（640×480ピクセル）	約4倍

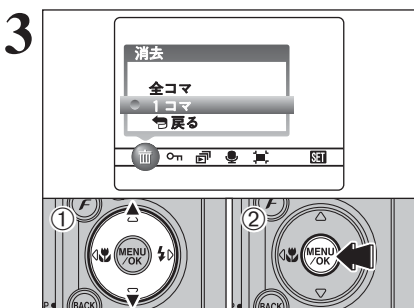
画像を消すには（1コマ消去）

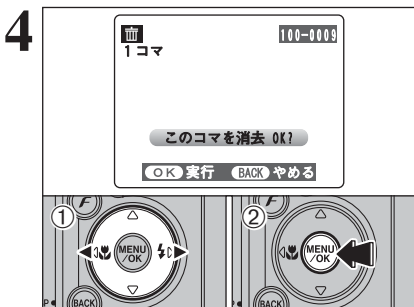
1

モードスイッチを“▶”に合わせます。

2

①再生中に“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
②“◀▶”で“🗑”消去を選びます。

誤ってコマ（ファイル）を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

3

①“▲▼”で“1コマ”を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押して決定します。
全コマについて詳しくは48ページをご参照ください。

“戻る”を選択して“MENU/OK”ボタンを押すと1コマ再生に戻ります。

4

①“◀▶”で消去するコマ（ファイル）を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ（ファイル）を消去します。
続けて消去するには①②を繰り返します。
消去を終えるには“BACK（DISP）”ボタンを押します。

“MENU/OK”ボタンを繰り返し押すと連続して消去されます。誤って消去しないよう注意してください。

静止画機能 ピントについて（距離）

被写体からカメラまでの距離を撮影距離といいます。
撮影距離が正しく設定されて、シャープな像を確認できることを“ピントが合っている”といいます。

■ピントを合わせる2つの方法－AFとMF

ピントを合わせる機構として、AF（オートフォーカス）およびMF（マニュアルフォーカス）があります。

AF：AFフレーム内の被写体に自動的にピントを合わせることができます。シャッターボタンを半押しすると、ピント合わせを実行します。

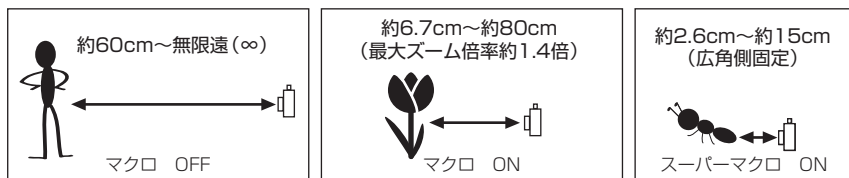
MF：手動でピントを合わせます。詳しくは46ページ参照。

■ピントが合わない原因と対処方法

原　因	対処方法
被写体がAFフレーム内にいない	AFロック撮影※1、MF撮影
AFの苦手な被写体	AFロック撮影※1、MF撮影
撮影距離範囲外	マクロのON/OFF※2
高速で移動する被写体	MF撮影（撮影距離を固定して撮影する＝置きピン）

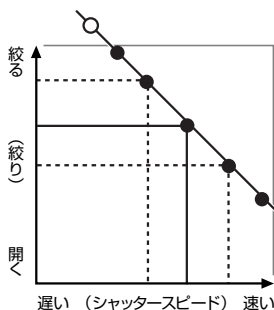
※1 AFロック撮影

半押しでピントを合わせる

※2 マクロのON/OFF

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

- 鏡、車のボディなど光沢があるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- 煙や炎などのように実体のないもの
- 被写体が暗いとき
- 高速で移動する被写体
- 被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 液晶モニター中央付近に主被写体の他に明暗差がはっきりしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

静止画機能 露出について（絞りとシャッタースピード）

「光がCCDに当たること」、「取り込んだ光の総量」を "露出" といい、それによって画像の明るさが決まります。
露出は絞りとシャッタースピードの組み合わせで決まります。被写体の明るさや感度などを考慮して、カメラが自動的に露出を決めることをAE（自動露出）といいます。

左図は、一定露出を保つように、絞りとシャッタースピードを変更していったときの様子を表しています。
- 絞りを一段絞ると、シャッタースピードが一段遅くなります（点が左上に動く）。
- 絞りを一段開くと、シャッタースピードが一段速くなります（点が右下に動く）。
- 絞りまたはシャッタースピードが範囲外になるような組み合わせは選べません（白い点）。
- 撮影モード "P、S、A" では、この直線上の移動を簡単に行うことができます。
- この直線を平行移動して、撮影される画像の明るさを調節することを露出補正といいます。

◆適正な露出が得られないときは◆

露出補正：AEで設定された露出を基準（0）にして、明るめ（＋）、暗め（－）に補正します。

－

0

＋

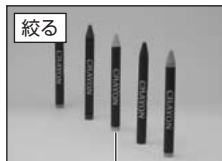
シャッタースピード

動きのある被写体を撮影する際に調整すると、「動きの一瞬をとらえる」、「動きを表現する」といった効果が得られます。

被写体が止まったように撮影されます。

被写体の軌跡が撮影されます。

絞り

調整すると、ピントの合う範囲（被写界深度）が変化します。

被写体の前後にもピントが合って撮影されます。

背景がぼやけて撮影されます。

3 応用編

撮影～設定手順

撮影シーンや仕上がりのイメージを考慮しながら設定を行います。
おおまかな流れは次のようになります。

1 撮影モードを選ぶ（➡30～34、62、63ページ）

AUTO	ピクセル、感度、FinePixカラーを除くすべての設定をカメラに任せます。
、、、	撮影シーンに適したシーンポジションが選べます。
P、S、A	絞り、シャッタースピードを変更し、「一瞬をとらえる」「時間の流れをとらえる」「背景をぼかす」といった効果を得ます。
M	すべての設定を調節できます。
	動画を撮影します。

2 必要に応じて撮影機能を設定する（➡35～39ページ）

マクロ、スーパーマクロ	近距離撮影で使用します。
ストロボ	暗い場所での撮影、逆光時の撮影などで使用します。
露出補正	AEの露出を基準（0）として、明るく（＋）または暗く（－）撮影します。

3 撮影（露出とピントを確認する➡構図調整➡シャッターを全押し）する

メニューを使って、さらに詳細な設定を行えます（➡40～47、64ページ）

以下にいくつかの設定例を示します。うまく使いこなせば、この他にも多彩な表現ができます。
いろいろと設定を変更して、どのような写真が撮れるか、ぜひお試しください。

このような仕上がりにしたい	設定例
被写体の動き（時間の流れ）を表現したい	モードダイヤルを“S”に合わせ、シャッタースピードを遅くします（手ブレを防ぐため三脚を使用します）。
動いている被写体が、止まっているように表現したい	モードダイヤルを“S”に合わせ、シャッタースピードを速くします。
背景をぼかしてメインの被写体を強調したい	モードダイヤルを“A”に合わせ、絞りを開きます。
ピントの合う範囲を広くしたい	モードダイヤルを“A”に合わせ、絞りを絞ります。
光源によって、画像が赤みがかったり、緑がかったりするのを防ぎたい	撮影メニューの「ホワイトバランス」で設定を変更します。
シャッターチャンスを逃したくない	AUTO撮影します（使ってみよう編参照）。
被写体がアンダーまたはオーバー気味に撮影されるのを防ぎ、素材感や質感をよりはっきりと鮮やかに出したい	露出補正します。 背景が白っぽいとき：＋、背景が黒っぽいとき：－

■モード別使用可能機能一覧

機能 ＼ 撮影モード			AUTO	人物	風景	スポーツ	夜景	P	S	A	M	動画
マクロ、スーパーマクロ		35ページ	○	×	×	×	×	○	○	○	○	×
ストロボ	オート	37ページ	○	○	×	○	×	○	×	×	×	×
	赤目軽減	37ページ	○	○	×	×	×	○	○	○	○	×
	強制発光	37ページ	○	○	×	○	×	○	○	○	○	×
	スローシンクロ	37ページ	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×
	赤目軽減+スローシンクロ	37ページ	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×
露出補正		39ページ	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×

■モード別使用可能メニュー一覧

				工場出荷時	AUTO	人物、風景、スポーツ、夜景	P	S	A	M	動画
FinePix Photo mode (ファインピックスフォトモード)	ピクセル		40、64ページ	5M N	○	○	○	○	○	○	○※2
	感度		41ページ	AUTO※1	○	○	○	○	○	○	×
	FinePixカラー		42ページ	F-スタンダード	○	○	○	○	○	○	×
メニュー	セルフタイマー		44ページ	OFF	○	○	○	○	○	○	×
	測光	マルチ	45ページ	マルチ	×	×	○	○	○	○	×
		スポット	45ページ		×	×	○	○	○	○	×
	ホワイトバランス		45ページ	AUTO	×	×	○	○	○	○	×
	フォーカス	AF	46ページ	AF	○	○	○	○	○	○	×
		MF	46ページ		×	×	○	○	○	○	×
	シャープネス		47ページ	ノーマル	×	×	○	○	○	○	×
	ストロボ(光量補正)		47ページ	±0	×	×	○	○	○	○	×

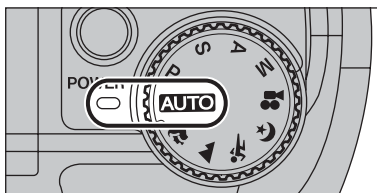
※1 AUTO設定できるのはAUTOのみです。
※2 動画モードのピクセルの工場出荷時設定は320×240です。

絞り、シャッタースピードの調整だけでは、適正露出が得られないときは…

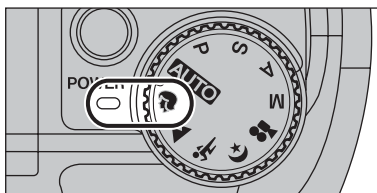
明るいとき
"ISO" 感度を下げる

暗いとき
"ISO" 感度を上げる
ストロボの使用/光量補正

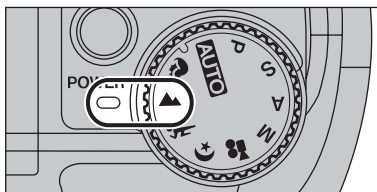
3 応用編

AUTO オート

モードダイヤルを“AUTO”に合わせます。
最も簡単に撮影できる撮影用途の広い撮影モードです。

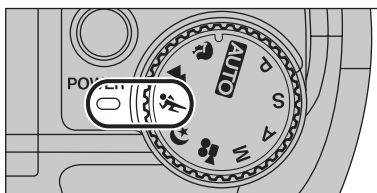
❗使用可能なストロボについては29ページをご参照ください。

人物

モードダイヤルを“人物”に合わせます。
人物撮影に適したモードです。
肌の色がきれいに見え、ソフトな感じに仕上がります。

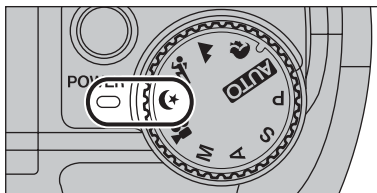
❗感度は自動的に100になります。必要に応じて変更してください。
❗使用可能なストロボについては29ページをご参照ください。

風景

モードダイヤルを“▲”に合わせます。
昼間の風景撮影に適したモードです。
建物や山など風景をくっきりと仕上げます。

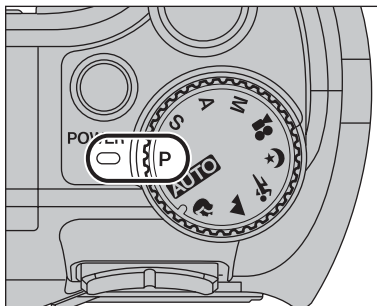
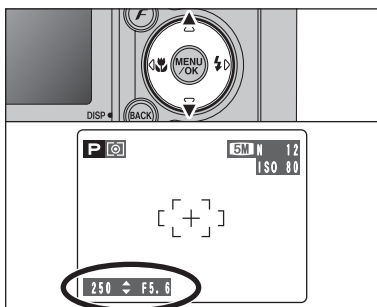
❗感度は自動的に100になります。必要に応じて変更してください。
❗ストロボは使用できません。ストロボポップアップすると“”が表示されます。

スポーツ

モードダイヤルを“スポーツ”に合わせます。
動体撮影に適したモードです。
高速側のシャッター優先の撮影が行われます。

❗感度は自動的に100になります。必要に応じて変更してください。
❗使用可能なストロボについては29ページをご参照ください。

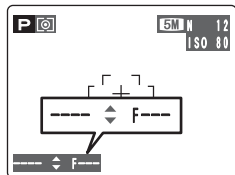
夜景

モードダイヤルを“夜景”に合わせます。
夕景や夜景の撮影に適したモードです。
最長約2秒のスローシャッター優先の撮影が行われます。
手ブレ防止のため必ず三脚をご使用ください。

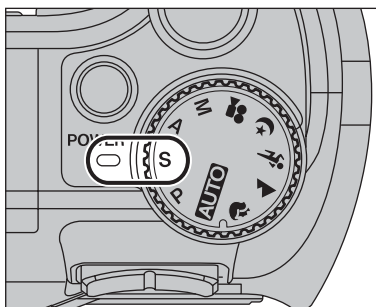
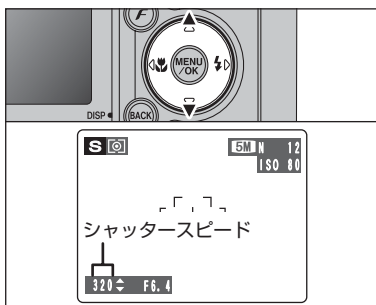
❗感度は自動的に100になります。必要に応じて変更してください。
❗使用可能なストロボについては29ページをご参照ください。

P プログラムオート

モードダイヤルを“P”に合わせます。
シャッタースピード/絞り以外の各種設定ができるオートモードです。
比較的簡単にシャッター優先、絞り優先のように撮影できます(プログラムシフト)。

プログラムシフト

“▲▼”を押すと、露出値を変えずにシャッタースピード、絞り値の組み合わせを切り換えることができます。
プログラムシフト中は、シャッタースピード、絞り値が黄色で表示されます。

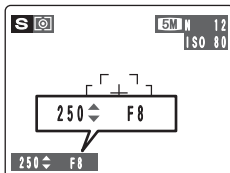
! プログラムシフトは次のとき自動的に解除されます。
- 撮影モードを切り換えたとき
- ストロボをポップアップしたとき
- 再生モードに切り換えたとき
- 電源が切れたとき

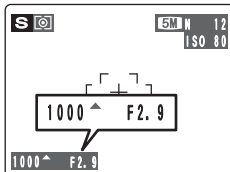
◆シャッタースピード、絞り値表示について◆

被写体の明るさがカメラが測光できる明るさの範囲を超えてしまう場合は、液晶モニター内の“シャッタースピード”および“絞り値”が「---」で表示されます。

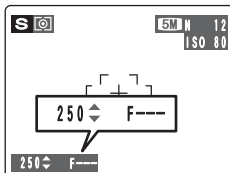
S シャッター優先オート

モードダイヤルを "S" に合わせます。
シャッタースピードを設定できるオートモードです。
動きの一瞬をとらえる(高速)、動きを表現する(低速)などの撮影ができます。

シャッタースピード設定

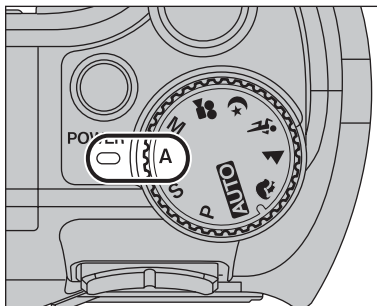
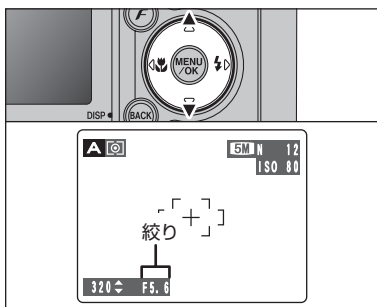
"▲▼" を押すと、シャッタースピードを設定できます。

●シャッタースピードの設定
2秒〜1/1000秒　1/3EVステップ

◆シャッタースピード、絞り値表示について◆

極端な露出オーバーの撮影シーンでは、絞り値(F8)が「赤色」で表示されます。そのときは、より高速側のシャッタースピード(最速1/1000秒まで)に設定してください。

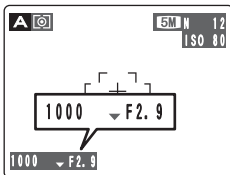
露出アンダー

極端な露出アンダーの撮影シーンでは、絞り値(F2.9)が「赤色」で表示されます。そのときは、より低速側のシャッタースピード(最長2秒まで)に設定してください。

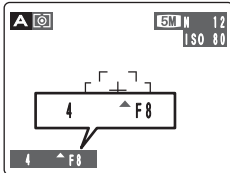
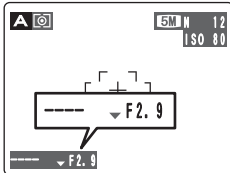
測光不可

被写体の明るさがカメラが測光できる明るさの範囲を超えてしまう場合は、絞り値が「F---」と表示されます。そのときはシャッターボタンを半押しすると再測光されて、値が表示されます。

A 絞り優先オート

モードダイヤルを“A”に合わせます。
絞り値を設定できるオートモードです。
背景をぼかす（開放）、遠くまでピントを合わせる（絞る）撮影ができます。

絞り値設定

“▲▼”を押すと、絞り値を設定できます。

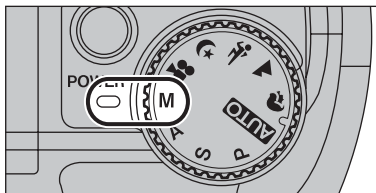
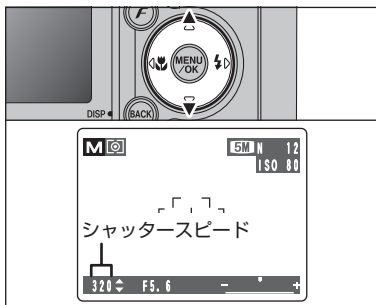
●絞り値の設定
　広角側：F2.9〜F8　1/3EVステップ
　望遠側：F5.5〜F8　1/3EVステップ

◆シャッタースピード、絞り値表示について◆

極端な露出オーバーの撮影シーンでは、シャッタースピード（1/1000秒）が「赤色」で表示されます。そのときは、より大きい数値の絞り値（最大F8まで）に設定してください。

露出アンダー

極端な露出アンダーの撮影シーンでは、シャッタースピード（1/4秒）が「赤色」で表示されます。そのときは、より小さい数値の絞り値に設定してください。

ストロボ強制発光に設定したときは最長シャッタースピードが1/60秒までになります。

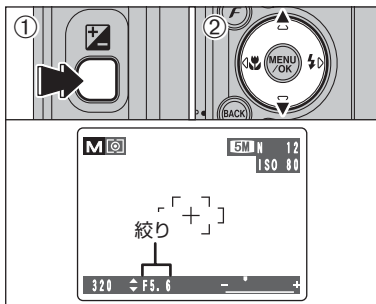
測光不可

被写体の明るさがカメラが測光できる明るさの範囲を超えてしまう場合は、シャッタースピードが「----」と表示されます。そのときはシャッターボタンを半押しすると再測光されて、値が表示されます。

M マニュアル

モードダイヤルを “M” に合わせます。
シャッタースピードと絞り値を自由に設定できる撮影モードです。

シャッタースピード設定

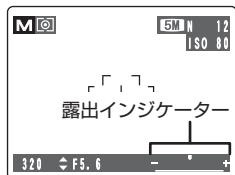
“▲▼” を押すと、シャッタースピードを設定できます。

- シャッタースピードの設定
  2秒〜1/2000秒　1/3EVステップ

- EVについては94ページをご参照ください。
- 手ブレ防止のため三脚を使用することをおすすめします。
- 長時間露光したときは、画像に点状のノイズが発生することがあります。
- 1/1000秒より高速なシャッタースピードのときは、ストロボが発光しても暗くなることがあります。

絞り値設定

①“☒” 露出補正ボタンを押しながら、
②“▲▼” を押すと、絞り値を設定できます。

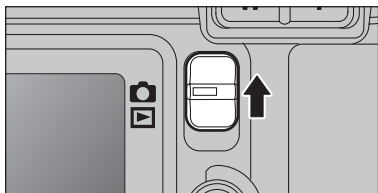
- 絞り値の設定
  広角側：F2.9〜F8　1/3EVステップ
  望遠側：F5.5〜F8　1/3EVステップ

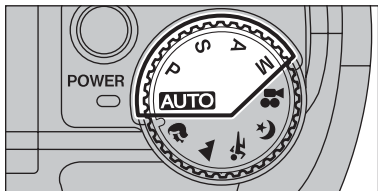
◆露出インジケーターについて◆

液晶モニターの露出インジケーターを目安に露出を決定します。被写体の明るさがカメラが測光できる明るさの範囲を超えてしまう場合は、目印が＋側になると露出オーバー（＋が黄色表示）、－側になると露出アンダー（－が黄色表示）です。

マクロ(近距離)

使用可能撮影モード：AUTO P S A M

マクロを設定すると近距離撮影ができます。

1

モードスイッチを“📷”に合わせます。

2

モードダイヤルを“AUTO、P、S、A、M”に合わせます。

3

“🌷(◀)”マクロボタンを押すたびにマクロの設定が変わります。

- マクロ撮影は、次のとき自動的に解除されます。
  - モードダイヤルを切り換えたとき
  - 電源が切れたとき
- ストロボが明るすぎる場合は、ストロボの光量補正を行ってください(➡47ページ)。
- 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします(“!✋”手ブレ警告が表示されているとき)。

	撮影可能距離	ストロボ撮影可能距離	光学ズーム焦点距離(35mmフィルム換算)
🌷 マクロ	約6.7cm〜約80cm	約30cm〜約80cm	約28mm〜約42mm相当 最大ズーム倍率　約1.4倍
スーパーマクロ	約2.6cm〜約15cm	ストロボは使用できません。	光学ズームはできません。

マクロでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

静止画機能 ⚡ ストロボ

使用可能撮影モード：AUTO、人物、スポーツ、夜景、P、S、A、M

撮影の目的に合わせて6種類のストロボの設定ができます。

1

モードスイッチを“📷”に合わせます。

2

モードダイヤルを“AUTO、人物、スポーツ、夜景、P、S、A、M”に合わせます。

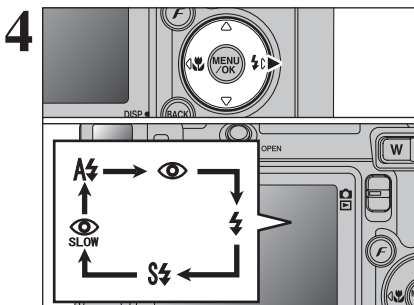
3

ストロボポップアップボタンを押してストロボをセットします。

●ストロボ撮影可能距離（AUTO時）
広角側：約0.6m〜約4.1m
望遠側：約0.6m〜約2.0m

❗1/1000秒より高速なシャッタースピードのときは、ストロボが発光しても暗くなることがあります。

❗ストロボをポップアップしたとき、ストロボを充電するために映像が消えて黒い画面になる場合があります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。

4

“⚡(▶)”ストロボボタンを押すたびにストロボの設定が切り換わり、最後に表示したストロボの設定が選択されます。

❗雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボ発光禁止での撮影をお試しください。

❗ストロボ撮影をした場合、ストロボを充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色に点滅します。

❗撮影メニューにより使用できるストロボモードが制限されます（➡29ページ）。

ストロボが発光するときは、シャッターボタンを半押しにすると、液晶モニターに“⚡”が表示されます。

A⚡ オートストロボ

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

❗ストロボ充電中にシャッターボタンを押すと、ストロボ発光せずに撮影されます。

赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。
撮影状況に応じてストロボが自動的に発光します。

❗ストロボ充電中にシャッターボタンを押すと、ストロボ発光せずに撮影されます。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

⚡ 強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。

S⚡ スローシンクロ

スローシャッターでストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。手ブレ防止のため必ず三脚をご使用ください。

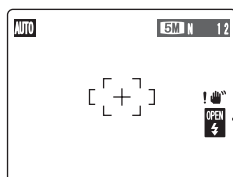
●最長シャッタースピード
“☾★”夜景：2秒まで

赤目軽減＋スローシンクロ

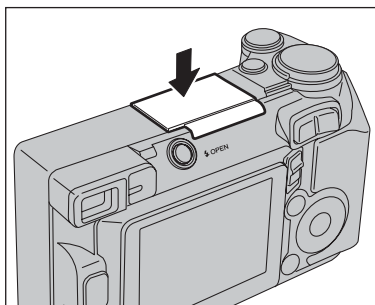
赤目軽減のスローシンクロ撮影です。

❗明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。

背景の夜景をより明るく撮りたい場合は、撮影モードの“☾★”（夜景）の使用をおすすめします（➡30ページ）。

次ページにつづく

◆ストロボ推奨表示◆

ストロボ推奨表示が表示される場合はストロボのご使用をおすすめします（➡36ページ）。

◆ストロボ発光禁止◆

ストロボを閉めると発光禁止になります。
室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、設定したホワイトバランス（➡45ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。

- 暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- 手ブレ警告については17、88ページをご参照ください。

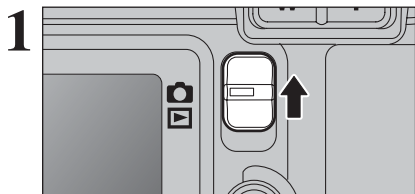
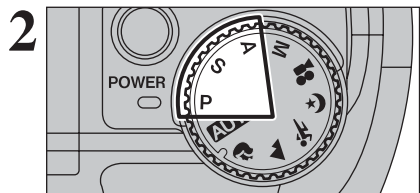
± 露出補正

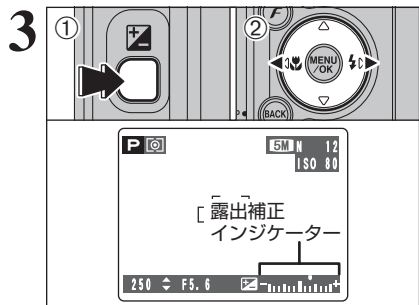
使用可能撮影モード：P S A

被写体と背景のコントラスト（明暗の差）がきわめて大きい場合など、適正な明るさ（露出）が得られないときに使用します。

1

モードスイッチを“📷”に合わせます。

2

モードダイヤルを“P、S、A”に合わせます。

3

①“±”露出補正ボタンを押しながら、
②“◀▶”を押して設定します。
補正した側の“−”または“+”が「黄色」になります。設定中は“±”が「黄色」で表示され、設定後は“±”が「青色」になります。

● 補正範囲：−2EV〜+2EV
（13段階：1/3EVステップ）

❗ “AUTO、人物、風景、スポーツ、夜景、M、動画”の撮影モードでは使用できません。

❗ 次のような状態では無効になります。
“⚡”（強制発光）または“👁”（赤目軽減）で撮影シーンが暗いとき

モード切り換え、電源OFFでも保持されます（“±”マーク点灯）。必要のないときは設定値を“0”にしてください。

◆適正な明るさを得るには◆

適正な明るさを得るには、撮影された写真の明暗の度合いにより露出補正を調節してください。

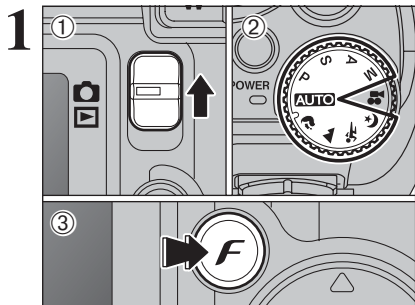
● 被写体が白っぽく撮影される。
設定値を−（マイナス）補正にして試してください。
写真全体が暗めに撮影されます。

● 被写体が暗い感じに撮影される。
設定値を+（プラス）補正にして試してください。
写真全体が明るめに撮影されます。

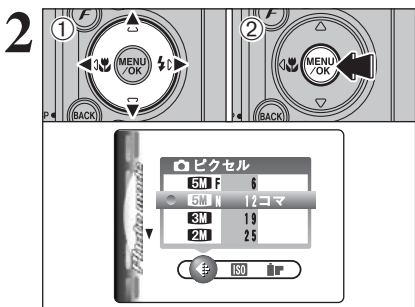
■露出補正の目安

- 逆光の人物撮影：+2目盛〜+4目盛（$+\frac{2}{3}$EV〜$+1\frac{1}{3}$EV）
- スキー場などの明るい場面や反射の強い場合：+3目盛（+1EV）
- 液晶モニター内を空の部分が大きく占める場合：+3目盛（+1EV）
- スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合：−2目盛（$-\frac{2}{3}$EV）
- 常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合：−2目盛（$-\frac{2}{3}$EV）

ピクセル（静止画の記録画素数）

1

①モードスイッチを "📷" に合わせます。
②モードダイヤルを静止画撮影モードに合わせます。
③"F" ボタンを押します。

ピクセルは、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。

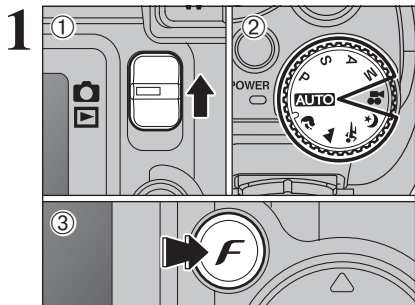
2

①"◀▶" で "ピクセル" ピクセルを選び、"▲▼" で設定を変更します。
②"MENU/OK" ボタンを押して決定します。

❗各設定の右側の数値は撮影可能枚数です。
❗ピクセル設定を変更すると撮影可能枚数（➡18ページ）が変わります。

静止画撮影モードのピクセル設定

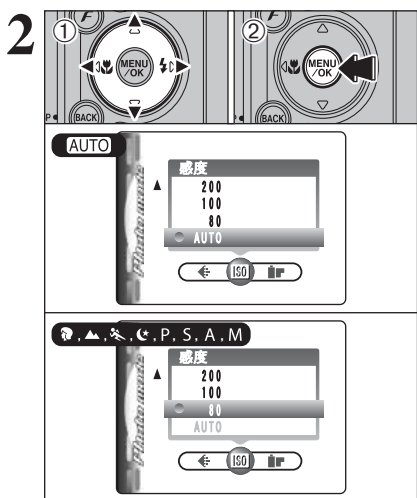
ピクセル	用途例
5M F（2592×1944） 5M N（2592×1944）	六切、A5サイズ程度でプリントする場合。画質を優先する場合は "5M F" を選んでください。
3M（2048×1536）	DSCW、2Lサイズ程度でプリントする場合。
2M（1600×1200）	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でプリントする場合。
03M（640×480）	電子メールへの画像添付やホームページで利用する場合。

ISO 感度

1

①モードスイッチを"📷"に合わせます。
②モードダイヤルを静止画撮影モードに合わせます。
③"F"ボタンを押します。

"🎥"動画撮影モードは"ISO"感度の設定ができません。

感度は、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。

2

①"◀▶"で"ISO"感度を選び、"▲▼"で設定を変更します。
②"MENU/OK"ボタンを押して決定します。

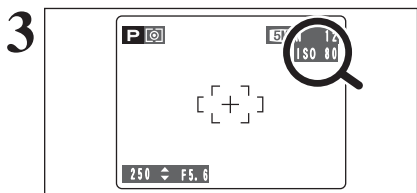
●設定値

AUTO：AUTO(80～320)、80、100、200、400

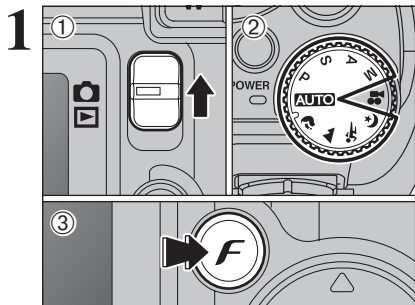
人物、風景、スポーツ、夜景、P、S、A、M：80、100、200、400

感度の設定値が大きくなるほど、より暗いところでの撮影ができるようになりますが、画像に粒子状のノイズが増えます。また、夜空などのシーンではスジ状のノイズが見える場合もあります。状況に応じて、感度設定を使い分けてください。

感度設定AUTOを選ぶと、被写体の明るさに適した感度が自動設定されます。
感度設定AUTOは撮影モード"AUTO"で選べます。

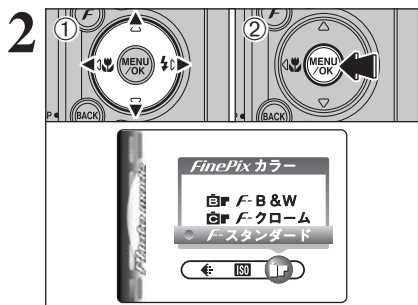
3

感度設定が80、100、200、400のときは設定した感度が液晶モニターに表示されます。

FinePixカラー

1

①モードスイッチを“📷”に合わせます。
②モードダイヤルを静止画撮影モードに合わせます。
③“*F*”ボタンを押します。

“🎥”動画撮影モードは“FinePixカラー”FinePixカラーの設定ができません。

FinePixカラーは、電源をOFFにしてもモードを切り換えても保持されます。

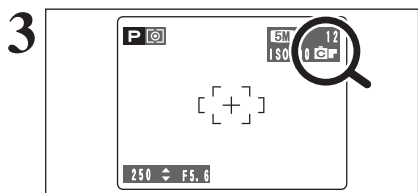
2

①“◀▶”で“FinePixカラー”FinePixカラーを選び、“▲▼”で設定を変更します。
②“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

F-クロームは人物のアップ(ポートレート)など被写体によっては効果が分かりにくい場合があります。

F-クロームは画像に対する効果がシーンによって異なるため、*F*-スタンダードとの併用をおすすめします。また、液晶モニターでは差が分からない場合があります。

F-クローム、*F*-B&Wで撮影するとExif Print対応プリンターでは、自動画質補正が抑制されます。

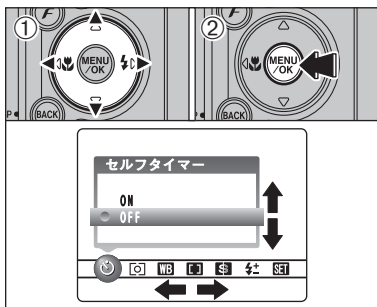
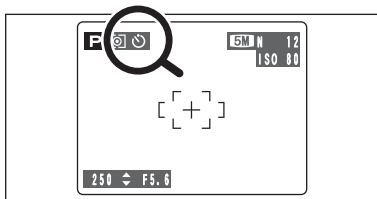
F-スタンダード	コントラスト、色味を標準に設定します。通常はこの設定でお使いください。
F-クローム	コントラスト、色が強めに撮影されます。風景(青空や深緑)や花などがより鮮やかに撮影され効果を発揮します。
F-B&W	撮影した画像を黒白にするときに設定します。

3

F-クローム、*F*-B&Wに設定すると液晶モニターにアイコンが表示されます。

F-クローム：C

F-B&W　：B

静止画メニュー 静止画メニューの操作（必ずお読みください）

1 “MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

2 ①“◀▶” でメニューを選びます。“▲▼” で設定を変更します。
②“MENU/OK” ボタンを押して決定します。

3 設定を有効にすると液晶モニターにアイコンが表示されます。

撮影モードにより設定可能な撮影メニューは変わります。

セルフタイマー ➡44ページ

撮影者を含めた集合写真などを撮影するときに使用します。

フォーカス ➡46ページ

ピントを合わせる方法を設定します。

[O] 測光 ➡45ページ

被写体と背景の明るさが大きく異なる撮影シーンで、マルチで思いどおり測光されない場合に使用します。

シャープネス ➡47ページ

輪郭をソフトにしたり強調したり、撮影画質を調節するときに変更します。

WB ホワイトバランス ➡45ページ

撮影時の環境、照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたいときに変更します。

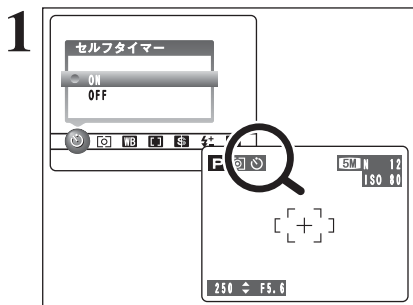
ストロボ（光量補正） ➡47ページ

撮影目的や撮影条件に合わせて、内蔵ストロボの発光量を調節するときに変更します。

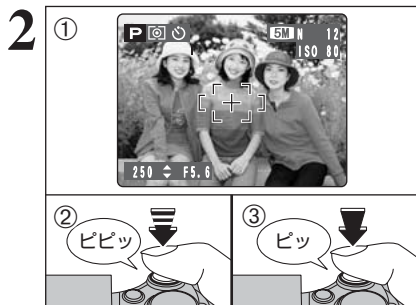
静止画メニュー

※メニューの表示方法（➡43ページ）

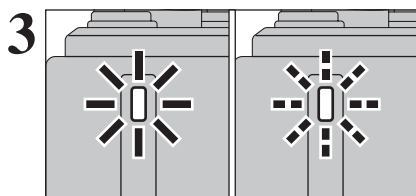
セルフタイマー　使用可能撮影モード：AUTO　P　S　A　M

1

撮影者を含めた集合写真などに使用します。
セルフタイマーをONにすると、液晶モニターに“ ”が表示されます。
約10秒間のセルフタイマー撮影です。

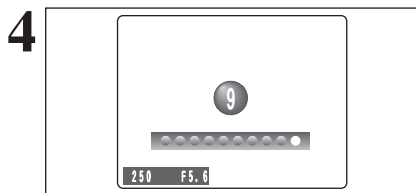
! セルフタイマーは、次のときに自動的に解除されます。
- 撮影が完了したとき
- モードダイヤルを切り換えたとき
- 再生モードに切り換えたとき
- 電源が切れたとき

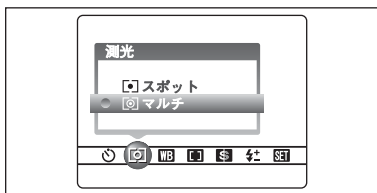
2

①AFフレームを被写体に合わせます。
②シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
③半押しのまま、さらにシャッターボタンを押し込む（全押し）と、セルフタイマーが開始されます。

! AF/AEロック撮影も可能です（➡19ページ）。
! レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ（露出）にならないことがあります。

3

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に撮影されます。

! 開始したセルフタイマー撮影は“BACK（DISP）”ボタンを押すと解除できます。

4

撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン（秒読み）表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

[O] 測光　使用可能撮影モード：P S A M

被写体と背景の明るさが大きく異なる撮影シーンで、マルチで思いどおり測光されない場合に使用します。

[⊙] マルチ（分割測光）：
自動で場面を判別し、露出が最適になるように測光します。

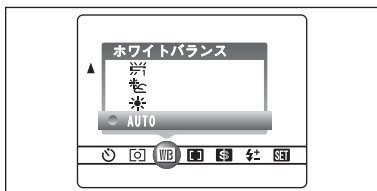
[•] スポット：
画面中央部の露出が最適になるように測光します。

“AUTO、、、、、”の撮影モードではマルチに固定されています。

◆次のような被写体のとき効果があります◆

● マルチ
シーン自動認識により被写体を分析し、幅広い条件で適正な露出が得られます。通常はマルチの使用をおすすめします。

● スポット
明暗差の大きい被写体で、ねらったものに正確に露出を合わせたいときに有効です。

WB ホワイトバランス　使用可能撮影モード：P S A M

撮影時の環境、照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。

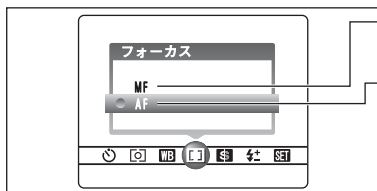
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスにならない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。ホワイトバランスについては94ページをご参照ください。

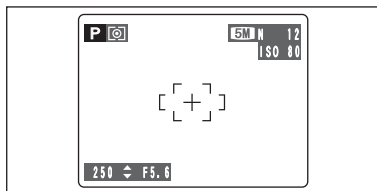
AUTO：自動調整
（光源の雰囲気を残した撮影）
☀：晴れた屋外での撮影
：日陰での撮影
：昼光色蛍光灯下での撮影
：昼白色蛍光灯下での撮影
：白色蛍光灯下での撮影
：電球、白熱灯下での撮影

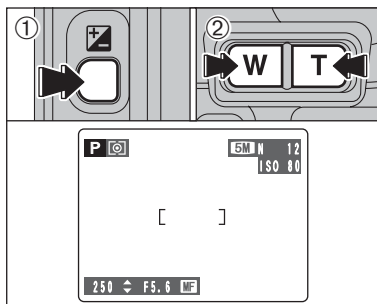
＊ストロボ発光時のホワイトバランスは、ストロボ用の設定になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止（➡38ページ）にしてください。

撮影環境（光源など）によって多少色味が変わる場合があります。

3 応用編

[ ] フォーカス　使用可能撮影モード：P S A M

MF マニュアルフォーカス

AF オートフォーカス

AF オートフォーカス

液晶モニター中央でピントを合わせます。
AF/AEロック撮影（➡19ページ）を併用すると便利です。

MF マニュアルフォーカス

①“±”露出補正ボタンを押しながら、
②“T、W”ボタンで、ピントを調節します。
ピントの確認は液晶モニターで行ってください。

ボタン操作	調節
± + T	ピントを遠くに調節
± + W	ピントを近くに調節

◆マニュアルフォーカスを使いこなすには◆

カメラが動いてしまうとピントがずれてしまうため、三脚を使用します。

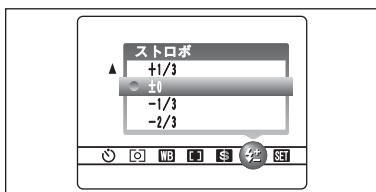
S シャープネス　使用可能撮影モード：P S A M

輪郭をソフトにしたり強調したり、撮影画質を調節するときに使用します。

ハード　：輪郭を強調します。
建物、文字などを鮮明にしたい撮影に最適です。

ノーマル：通常の撮影に最適なシャープネス処理をします。

ソフト　：輪郭をソフトにします。
人物などソフトにしたい撮影に最適です。

ストロボ（光量補正）　使用可能撮影モード：P S A M

光量補正は撮影目的や撮影条件に合わせて内蔵ストロボの発光量のみを変えられます。

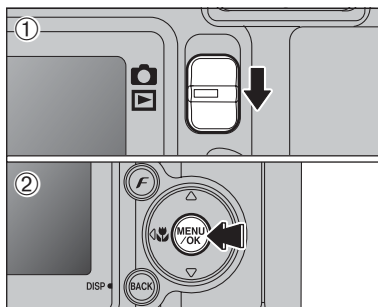
●補正範囲：±2段階：
−2/3EV～+2/3EV
（5段階：1/3EVステップ）
EVについては94ページをご参照ください。

! 被写体条件および撮影距離などによっては、光量補正の効果が得られない場合があります。

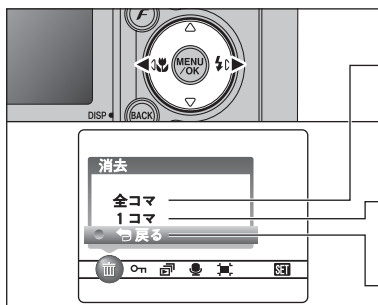
! 1/1000秒より高速なシャッタースピードを設定したときは、暗く撮影されることがあります。

3 応用編

再生メニュー 🗑 消去（1コマ、全コマ）

1

①モードスイッチを “▶” に合わせます。
②“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

誤ってコマ（ファイル）を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なコマ（ファイル)は、パソコンなどにコピーしてください。

2

“◀▶” で “🗑” 消去を選びます。

全コマ

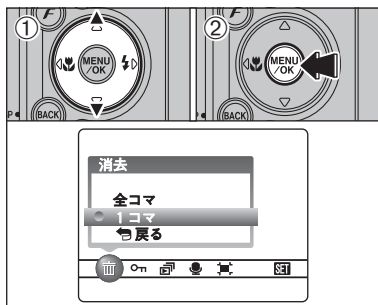
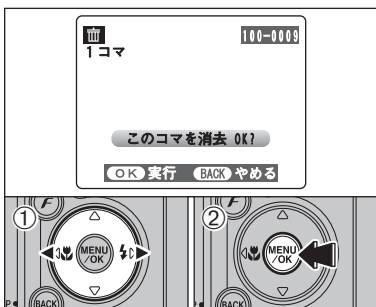
プロテクトされていないすべてのコマ（ファイル）を消去します。消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

1コマ

選んだコマ（ファイル）だけを消去します。

戻る

消去せずに再生に戻ります。

3

①“▲▼” で “1コマ” か “全コマ” を選びます。
②“MENU/OK” ボタンを押します。

1コマ

①“◀▶”で消去するコマ(ファイル)を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ(ファイル)を消去します。
続けて消去するには①②を繰り返します。
消去を終えるには“BACK(DISP)”ボタンを押します。

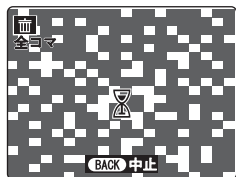
❗“MENU/OK”ボタンを繰り返し押すと連続して消去されます。誤って消去しないよう注意してください。
❗プロテクトされたコマ(ファイル)は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください(➡50ページ)。

全コマ

“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのコマ(ファイル)を消去します。

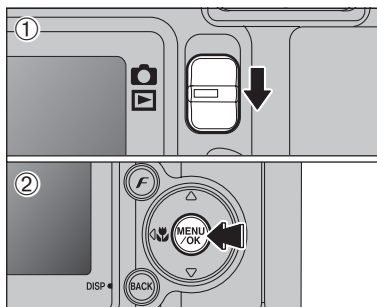
❗プロテクトされたコマ(ファイル)は消去できません。プロテクトを解除してから消去してください(➡50ページ)。

“(予約があります)”が表示された場合、コマ(ファイル)を消去するには“MENU/OK”ボタンをもう一度押します。

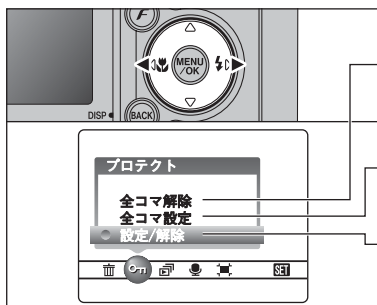
◆操作を途中でやめたいときは◆

全コマ消去を中止したいときは“BACK(DISP)”ボタンを押してください。プロテクトされていないコマ(ファイル)の中で、いくつかのコマ(ファイル)が消去されずに残ります。

❗すぐに中止した場合でも、いくつかのコマ(ファイル)は消去されます。

再生メニュー O‑π プロテクト(設定/解除、全コマ設定、全コマ解除)

1

①モードスイッチを“▶”に合わせます。
②“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

プロテクトとは、コマ(ファイル)を誤って消去しないように設定することです。ただし“フォーマット”するとすべてのコマ(ファイル)が消去されます(➡69ページ)。

2

“◀▶”で“O‑π”プロテクトを選びます。

全コマ解除

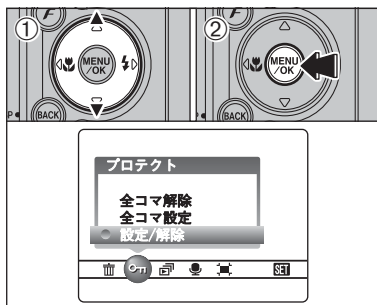
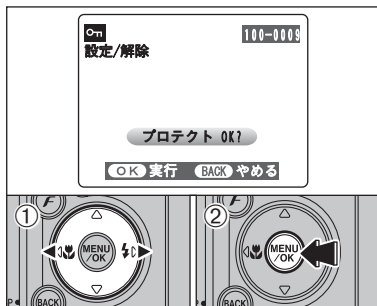
すべてのコマ(ファイル)のプロテクトを解除します。

全コマ設定

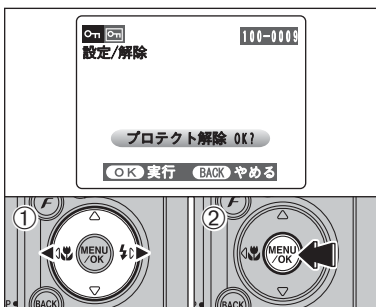
すべてのコマ(ファイル)をプロテクトします。

設定/解除

選んだコマ(ファイル)だけをプロテクトしたり、解除したりします。

3

①“▲▼”で“設定/解除”、“全コマ設定”か“全コマ解除”を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押します。

設定

①“◀▶”でプロテクトするコマ(ファイル)を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のコマ(ファイル)をプロテクトします。

続けてプロテクトするには①②を繰り返します。
プロテクトを終えるには“BACK(DISP)”ボタンを押します。

解除

①"◀▶"でプロテクトしたコマ（ファイル）を選びます。
②"MENU/OK"ボタンを押すと表示中のコマ（ファイル）のプロテクトを解除します。

全コマ設定

"MENU/OK"ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）をプロテクトします。

全コマ解除

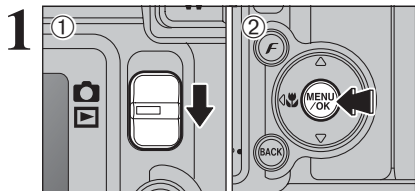
"MENU/OK"ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）のプロテクトを解除します。

3 応用編

◆操作を途中でやめたいときは◆

撮影した画像が大量にあると、全コマ設定、全コマ解除に時間がかかる場合があります。
操作の途中で静止画や動画の撮影をしたい場合は"BACK（DISP）"ボタンを押してください。その後、全コマ設定、全コマ解除をし直す場合は、50ページの手順**1**から操作し直してください。

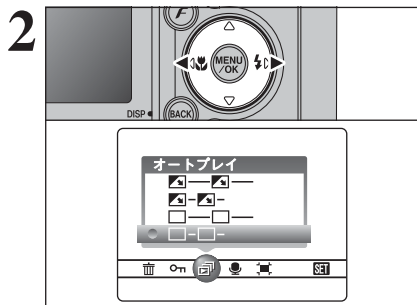
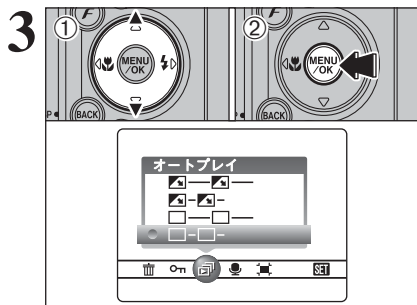
再生メニュー オートプレイ（自動再生）

1

①モードスイッチを “▶” に合わせます。
②“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

● オートプレイ中はパワーセーブしません。
● 動画は自動的に再生が始まります。再生が終わると次のコマに進みます。

2

“◀▶” で “” オートプレイを選びます。

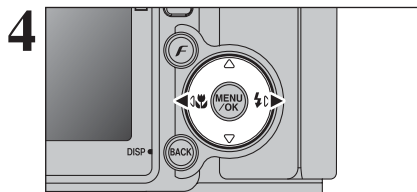
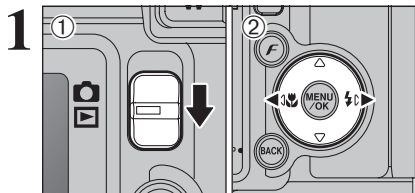
3

①“▲▼” を押して自動再生の間隔と画像の切り換えかたを選びます。
②“MENU/OK” ボタンを押します。画像が自動的にコマ送りされて再生されます。
途中でやめる場合は “▲” ボタン（または “MENU/OK” ボタン）を押してください。

● “BACK（DISP）” ボタンを1回押すと、液晶モニターに再生コマNO.とガイダンスが表示されます。

4

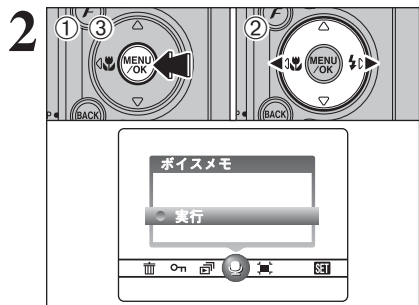
“◀▶” でコマ送りできます。

再生メニュー 🎙 ボイスメモ録音

1

静止画に最長30秒間のボイスメモを付けることができます。

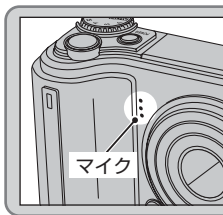
●録音形式：WAVE（➡94ページ）
PCM記録形式
音声ファイルサイズ：約480KB（30秒録音時）

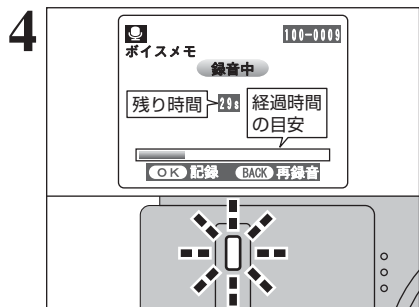
①モードスイッチを“▶”に合わせます。
②“◀▶”でボイスメモを付けたい画像（静止画）を選びます。

2

①“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
②“◀▶”で“🎙”ボイスメモを選びます。
③“MENU/OK”ボタンを押します。

❗動画にはボイスメモを付けられません。
❗“ プロテクトされています ”が表示された場合はプロテクトを解除してください。

3

液晶モニターに“録音スタンバイ”と表示されます。
“MENU/OK”ボタンを押すと録音が開始されます。

マイクに向かって録音してください。
約20cm離れるとうまく録音できます。

4

録音中は液晶モニターに残り時間が表示され、セルフタイマーランプが点滅します。
残り時間が5秒になると、セルフタイマーランプが早く点滅します。

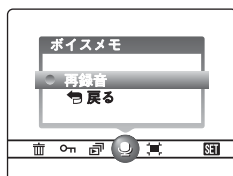
❗途中で完了する場合は“MENU/OK”ボタンを押してください。

次ページにつづく

5

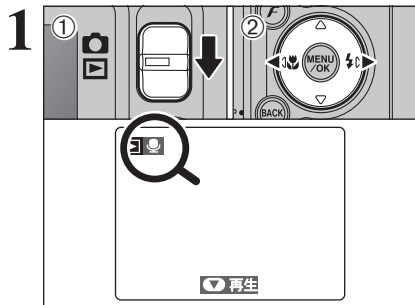
30秒間録音すると液晶モニターに“録音終了”と表示されます。

記録する場合：“MENU/OK” ボタンを押します。
再録音する場合：“BACK（DISP）” ボタンを押します。

◆すでにボイスメモがあるときは◆

ボイスメモ付きの画像を選んだときは、再録音するかどうか選択画面が表示されます。

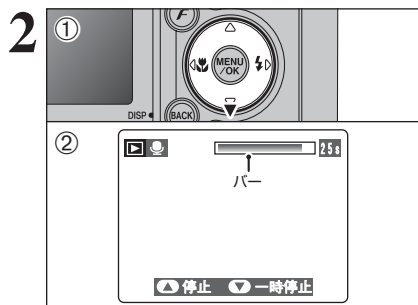
“プロテクトされています” が表示された場合はプロテクトを解除してください。

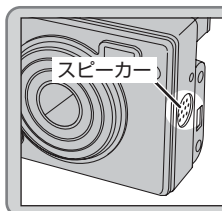
ボイスメモ再生

1

①モードスイッチを “▶” に合わせます。
②“◀▶” でボイスメモ付き画像ファイルを選びます。

マルチ再生ではボイスメモ再生できません。
“BACK (DISP)” ボタンを押して、1コマ再生にしてください。

“🎙” のアイコンで表示されます。

2

①“▼” を押すと再生されます。
②液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください (➡66ページ)。

スピーカーをふさがないでください。

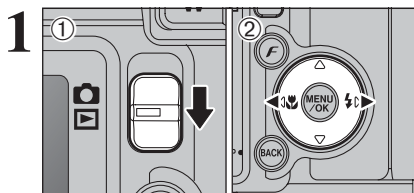
■ボイスメモ再生操作方法

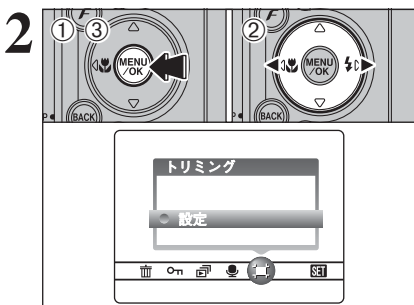
	操　作	説　明
再生	▼	再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に “◀▶” を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し	◀▶	再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。 ※一時停止中は操作できません。

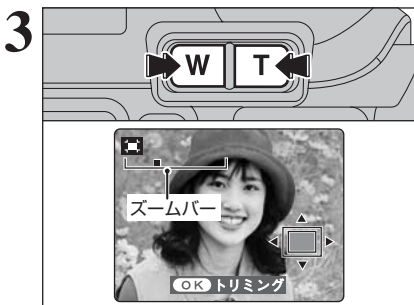
◆再生できるボイスメモファイルについて◆

本機で記録したボイスメモファイル、弊社製デジタルカメラで xD-ピクチャーカード に記録した30秒以内のボイスメモファイルが本機で再生できます。

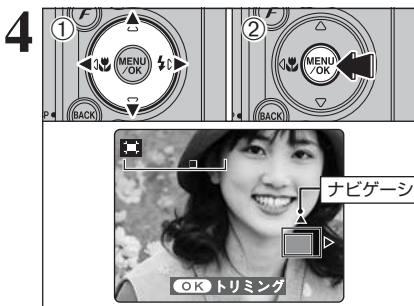
再生メニュー ⌗ トリミング

1

①モードスイッチを“▶”に合わせます。
②“◀▶”でトリミングするコマ（ファイル）を選びます。

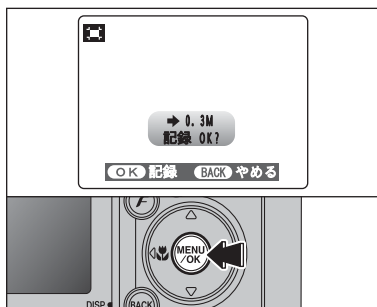
2

①“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
②“◀▶”で“⌗”トリミングを選びます。
③“MENU/OK”ボタンを押します。

3

ズームボタンを押すと静止画をズーム（拡大）します。このとき“ズームバー”が表示されます。

❗“BACK（DISP）”ボタンを押すと、1コマ再生に戻ります。

4

①“▲▼◀▶”を押すと、見える範囲を移動できます。
このときナビゲーション画面に現在の表示位置が表示されます。
②トリミングをするときは“MENU/OK”ボタンを押します。

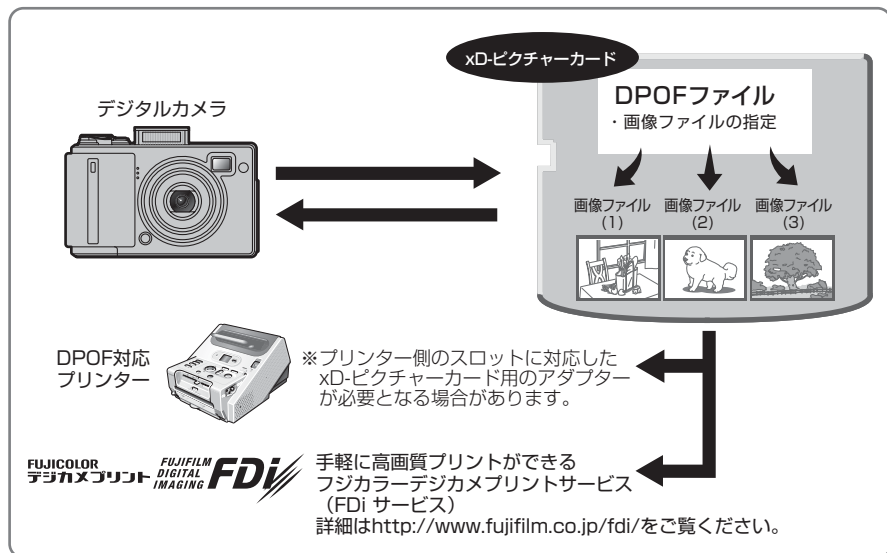
❗“BACK（DISP）”ボタンを押すと、1コマ再生に戻ります。

5

保存される画像サイズを確認し、“MENU/OK”ボタンを押します。トリミングした画像は最後のコマに別ファイルで追加されます。

■画像サイズについて

	用途例
3M	DSCW、2Lサイズ程度でプリントする場合。
2M	DSC、L、ハガキ、A6サイズ程度でプリントする場合。
03M	電子メールへの画像添付やホームページで利用する場合。

Fフォトモード再生 プリント予約(DPOF)について

DPOF(ディーポフ)とはDigital Print Order Format(デジタルプリントオーダーフォーマット)のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数、日付の有無などの指定情報を **xD-ピクチャーカード** などに記録するときの形式です。

- DPOF対応デジタルカメラ(本機)では上記の情報をカメラの操作で **xD-ピクチャーカード** に記録することができます。
- DPOF情報を記録した **xD-ピクチャーカード** を、フジカラーデジカメプリントサービス(FDiサービス)取扱店にお持ちいただき、お店で「DPOF指定でプリント」とお伝えいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。一回のDPOF指定でプリントできるサイズは1種類です。一部の店舗では、DPOF指定をお受けしていませんので、ご注文時にご確認ください。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ(画像ファイル)を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

◆デジカメプリントのご注文について◆

DPOF指定しなくてもフジカラーデジカメプリントサービス取扱店でプリントしたいコマやその枚数、日付の有無などの指定が可能です(お店のプリント受付機をご利用いただくと画像を見ながら簡単にできます)。詳しくはお店にご確認ください。

DPOF指定する場合も、お店で日付ありを指定する場合も撮影時にカメラの日時が正しく設定されていることが必須です。撮影前にカメラの日時が正しく設定されていることをご確認ください。

𝑭フォトモード再生 🖨 プリント予約(1コマ設定、解除、日付の有無)

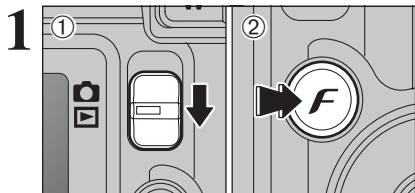
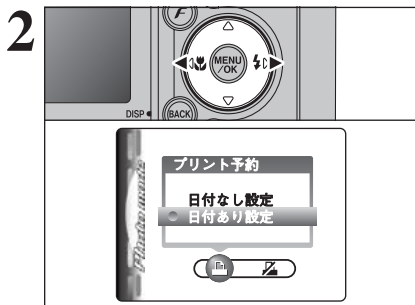
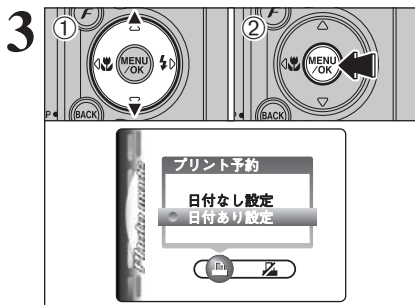
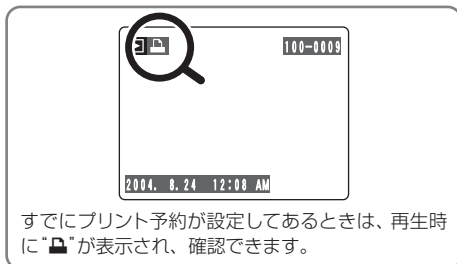
1

①モードスイッチを“▶”に合わせます。
②“𝑭”ボタンを押します。

2

“◀▶”で“🖨”プリント予約を選びます。

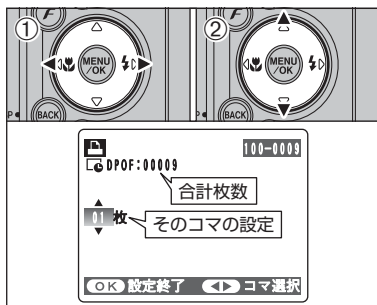
すでにプリント予約が設定してあるときは、再生時に“🖨”が表示され、確認できます。

3

①“▲▼”で“日付あり設定”か“日付なし設定”を選びます。“日付あり設定”にすると、プリントに日付が印字されます。
②“MENU/OK”ボタンを押します。

❗“日付あり設定”にするとプリントサービスかDPOF対応プリンターなどで日付を入れてプリントできます(プリンターの仕様によっては日付が入らないことがあります)。

◆他の機種でプリント予約が設定してあるとき◆

他の機種でプリント予約されたコマ(ファイル)がある場合は“🖨予約再設定OK?”と表示されます。
“MENU/OK”ボタンを押すと、すでにプリント予約された設定はすべて消去されます。新たにプリント予約をやり直す必要があります。

❗“BACK(DISP)”ボタンを押すと設定を変更しません。

3 応用編

次ページにつづく

プリント予約（1コマ設定、解除、日付の有無）

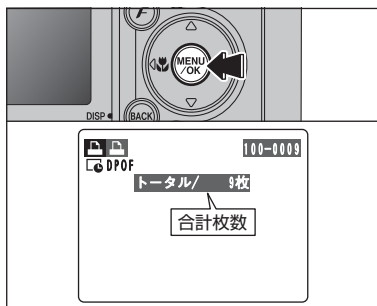
4

①"◀▶" で設定するコマ（ファイル）を選びます。
②"▲▼" でプリントするコマ（ファイル）にプリント枚数を99枚まで設定できます。プリントしないコマ（ファイル）はプリント枚数を0枚に設定します。

続けて設定するには①②を繰り返します。

● 同一 xD-ピクチャーカード 内で999コマの画像にプリント予約できます。
● 動画はプリント予約できません。

設定中に "BACK（DISP）" ボタンを押すと、新規設定がすべてキャンセルされます。すでにプリント予約されていたときは、修正のみキャンセルします。

5

設定が終了したら、必ず "MENU/OK" ボタンを押します。

"BACK（DISP）" ボタンを押すとプリント予約されません。

◆1コマ解除について◆

プリント予約したコマ（ファイル）の設定を解除（1コマ解除）するには、手順**1**～**3**までの操作を行います。

①"◀▶" でプリント予約を解除したいコマ（ファイル）を選びます。
②プリント枚数を0枚に設定します。

続けて解除するには①②を繰り返します。

設定が終了したら、必ず "MENU/OK" ボタンを押してください。

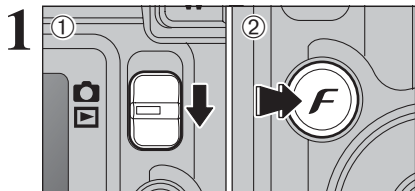
F フォトモード再生

予約全解除

1

①モードスイッチを“▶”に合わせます。
②“F”ボタンを押します。

2

①“◀▶”で“”予約全解除を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押します。

3

実行を確認する画面が表示されます。
プリント予約をすべて解除するには“MENU/OK”ボタンを押します。

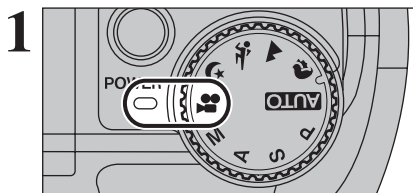
動画モード 動画を撮影してみましょう（🎥 動画撮影）

1回で撮影できる動画は最長60秒（320設定時）/180秒（160設定時）です。

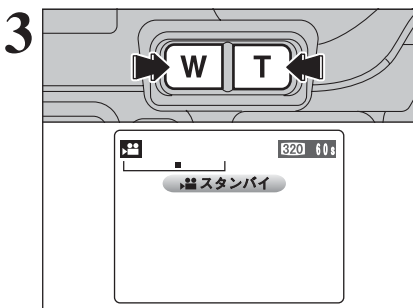
●撮影形式：Motion JPEG形式
　　　　　　モノラル音声付き
●ピクセルサイズ切り換え式
　320（320×240ピクセル）
　160（160×120ピクセル）
●フレームレート　10フレーム/秒
　フレームレートについては94ページをご参照ください。

! ピクセル設定の変更（➡64ページ）。
! xD-ピクチャーカード の空き容量によっては、1回の撮影時間が短くなることがあります。
! xD-ピクチャーカード で撮影できる標準時間は93ページをご参照ください。
! 液晶モニターをOFFにすることはできません。

本機以外のカメラでは動画ファイルは再生できない場合があります。

1

モードダイヤルを“🎥”に合わせます。
音声付き動画が撮れるモードです。

2

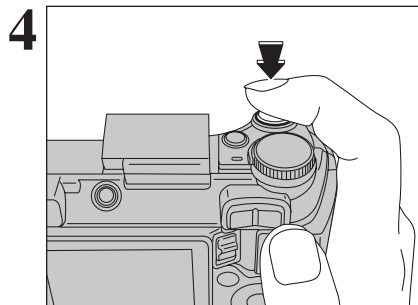
液晶モニターに撮影可能時間と“🎥スタンバイ”が表示されます。

! 音声が同時に記録されるので、指などでマイク（➡6ページ）をふさがないようご注意ください。

3

撮影を開始する前にズームボタンでズームします。撮影中はズームできませんので、必ず撮影前に行ってください。

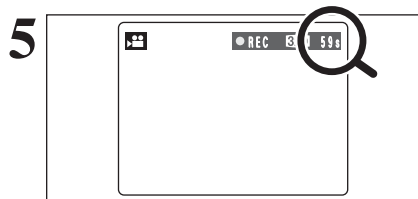
●光学ズーム焦点距離（35mmフィルム換算）
　約28mm〜約91mm相当
　最大ズーム倍率 3.2倍

●撮影可能距離
　約60cm〜無限遠（∞）

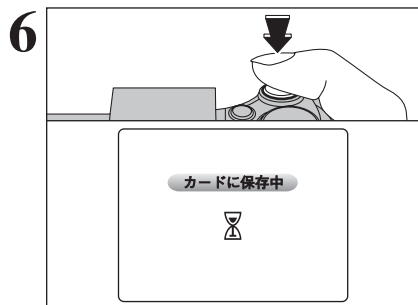
4

シャッターボタンを全押しすると、撮影が開始されます。

- 撮影前の液晶モニターと動画記録中の液晶モニターは明るさや色などが異なる場合があります。
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。

> シャッターボタンを全押しすると、ピントは固定されますが、露出はシーンに応じて自動的に変化します。

5

撮影中は液晶モニターに“●REC”が表示され、右上に残り時間をカウントダウン表示します。

- 動画撮影中に被写体の明るさが変化すると、レンズ動作音が記録されることがあります。
- 屋外での撮影で風切り音が入る場合があります。
- 残り時間がなくなると自動的に撮影が終了し、 xD-ピクチャーカード に記録されます。

6

撮影中にもう一度シャッターボタンを押すと撮影を終了し、 xD-ピクチャーカード へ記録します。

- 撮影開始後すぐに終了しても約1秒間だけ xD-ピクチャーカード へ記録されます。

撮影可能時間について

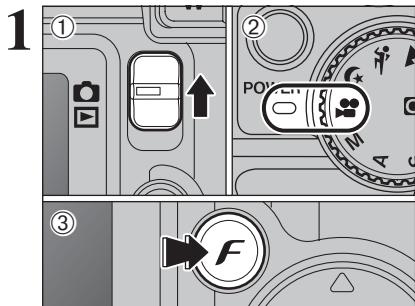
■ xD-ピクチャーカード 標準撮影時間

＊新しい xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットした状態の標準撮影時間です。xD-ピクチャーカード の空き容量によって撮影時間が変わります。

	ピクセル	
	320（10フレーム/秒）	160（10フレーム/秒）
DPC-16（16MB）	1分34秒	4分48秒
DPC-32（32MB）	3分9秒	9分42秒
DPC-64（64MB）	6分21秒	19分29秒
DPC-128（128MB）	12分44秒	39分3秒
DPC-256（256MB）	25分30秒	78分11秒
DPC-512（512MB）	51分00秒	156分20秒

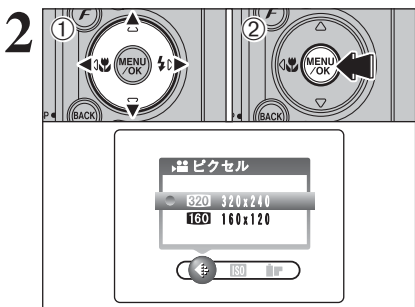
3 応用編

F フォトモード 動画撮影 ピクセル（動画の記録画素数）

1

①モードスイッチを“📷”に合わせます。
②モードダイヤルを“🎥”に合わせます。
③“F”ボタンを押します。

❗“🎥”動画撮影モードは“ISO”感度の設定ができません。
❗“🎥”動画撮影モードは“FinePixカラー”FinePixカラーの設定ができません。

ピクセルは、電源をOFFにしてもモードダイヤルを切り換えても保持されます。

2

①“◀▶”で“ピクセル”ピクセルを選び“▲▼”で設定を変更します。
2種類の動画サイズを選べます。画質を優先する場合は“320”を、撮影時間を長くする場合は“160”を選びます。

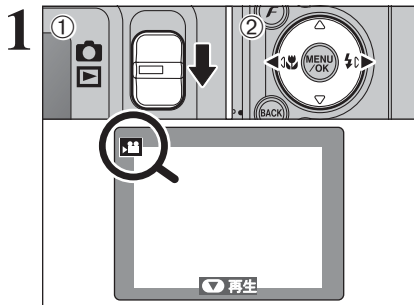
■1回の撮影で記録可能な秒数

ピクセル設定	最長撮影時間
320（320×240）	60秒
160（160×120）	180秒

②“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

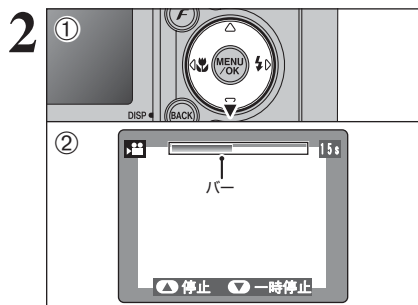
再生モード

動画を見るには（▶ 動画再生）

1

①モードスイッチを“▶”に合わせます。
②“◀▶”で動画ファイルを選びます。

マルチ再生では動画再生できません。
“BACK（DISP）”ボタンを押して、1コマ再生にしてください。

“🎥”のアイコンで表示されます。

2

①“▼”を押すと再生されます。
②液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

スピーカーをふさがないでください。
音が聞き取りにくい場合は、音量調節をしてください（➡66ページ）。
高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に白い縦スジや、黒い横スジが入ることがありますが故障ではありません。

静止画に比べ、ひと回り小さく表示されます。

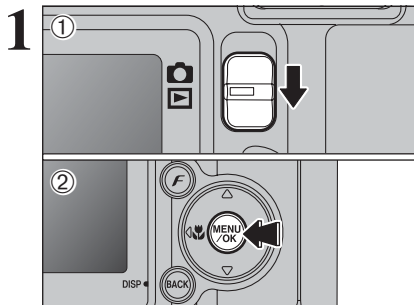
■動画再生操作方法

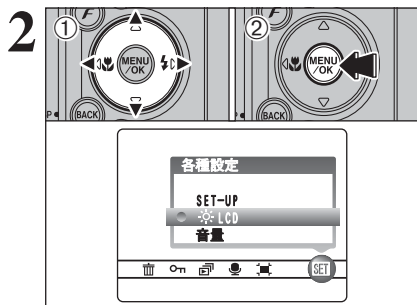
	操　作	説　明
再生	▼	再生を開始します。 再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し	◀▶	再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。
コマ送り	◀▶ 一時停止中	一時停止中に“◀”または“▶”を押すたびに1コマずつ送られます。 押し続けると速く送られます。

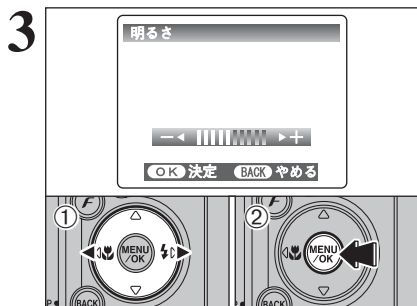
◆動画ファイルの再生について◆

●本機以外で記録した動画ファイルは再生できない場合があります。
●パソコンで再生する場合、xD-ピクチャーカード 内の動画ファイルをパソコンのハードディスクに保存して、そのファイルを再生してください。

☼ LCD(液晶モニター明るさ)調節、音量調節

1

①モードスイッチを "📷、▶" のいずれかに合わせます。
②"MENU/OK" ボタンを押してメニューを表示します。

2

① "◀▶" で "SET" 各種設定を選び、"▲▼" で "☼LCD" または "音量" を選びます。
②"MENU/OK" ボタンを押します。

3

① "◀▶" で液晶モニター明るさまたは音量を調節します。
②"MENU/OK" ボタンを押して設定します。

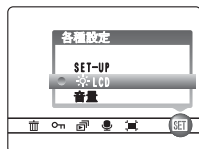
◆各種設定のメニュー項目について◆

"SET" 各種設定のメニュー項目は "📷、▶" のモードにより変わります。

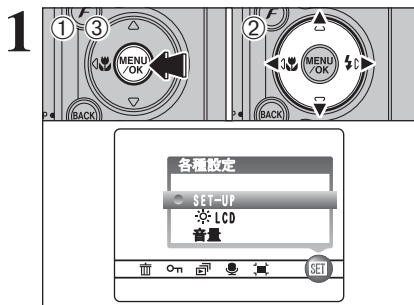
● "AUTO、👤、▲、🏃、☾、P、S、A、M" 静止画撮影モード

※ "P、S、A、M" 時

● "🎥" 動画撮影モード

● "▶" 再生モード

SET-UP（セットアップ）

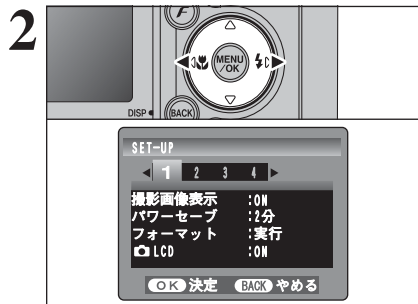
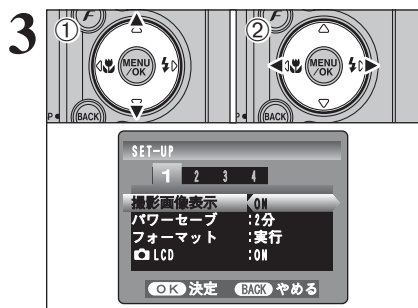
🅂 セットアップ画面の操作

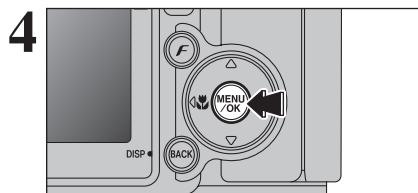
1

①“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。
②“◀▶”で“🅂”各種設定を選び、“▲▼”で“SET-UP”を選びます。
③“MENU/OK” ボタンを押して、SET-UP画面を表示します。

❗電池を交換するときは、必ず電源を切ってください。電源を切らずに電池カバーを開けたりACパワーアダプターを抜くと、各種設定が工場出荷時設定に戻ることがあります。

2

“◀▶”で見出し番号1〜4を切り換えます。

3

①“▲▼”で項目を選び、
②“◀▶”で設定を変更します。
“フォーマット”“日時設定”“世界時計”“充電池放電”“📷リセット”は“▶”を押します。

4

変更後“MENU/OK” ボタンを押して決定します。

SET-UP（セットアップ）

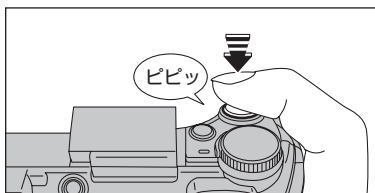
■SET-UPメニュー一覧

	項　目	表　示	工場出荷時	内　容	ページ
1	撮影画像表示	ON/OFF	ON	撮影後に画像確認画面（撮影結果）を表示するかどうか設定できます。撮影結果がしばらく表示され、自動的に記録されます。	—
	パワーセーブ	2分/5分	2分	何も操作していないときに消費電力を抑え、その後、自動的に電源が切れる時間を設定できます。	69
	フォーマット	実行	—	すべてのファイルを消去します。	69
	LCD	ON/OFF	ON	撮影モードで電源を入れたときに、自動的に液晶モニターをONにするかOFFにするか設定できます。	—
2	ビープ	OFF/1/2/3	2	操作したときの音量を設定できます。	—
	シャッター	OFF/1/2/3	2	シャッターを切るときの音量を設定できます。	—
	日時設定	設定	—	日付、時刻を修正できます。	11
	世界時計	設定	—	時差の設定ができます。	70
3	コマNO.	連番/新規	連番	コマNO.を連番にするか新規にするかを設定します。	71
	USB 設定	⇆/WEB/⇆	⇆	⇆：カードリーダー xD-ピクチャーカード から簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます。	77
	USB 設定	⇆/WEB/⇆	⇆	WEB：WEB カメラ インターネット接続されたパソコン同士でテレビ電話が楽しめます（Windows XP SP1のみ）。	78
	USB 設定	⇆/WEB/⇆	⇆	⇆：ピクトブリッジ PictBridge（ピクトブリッジ）対応のプリンターがあれば、パソコンを使わないでカメラとプリンターを直接つないでプリントできます。	73
	起動画面	ON/OFF	OFF	電源を入れたときに、登録したオープニング画面を表示するかしないかを設定できます。	—
	言語/LANG.	日本語/ENGLISH/FRANCAIS/DEUTSCH/ESPAÑOL/中文	日本語	液晶モニターに表示する言語を設定できます。	—
4	ビデオ出力	NTSC/PAL	NTSC	ビデオ出力をNTSCにするかPALにするかを設定します。 日本国内で使用する場合はNTSCを選択してください。	—
	充電池放電	実行	—	充電池を放電します。	86
	リセット	実行	—	日時設定、世界時計、言語/LANG.、ビデオ出力以外のすべての設定を工場出荷時設定にリセットします。“▶”を押すと確認画面が表示されるので、リセットするには“MENU/OK”ボタンを押します。	—

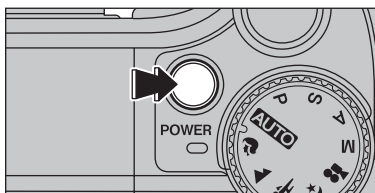
パワーセーブ（省電力設定）

本機能を有効にすると、約60秒間操作をしないと液晶モニターが消え（スリープ）、消費電力を抑えます。（ファインダーランプ［緑］が1秒おきに点滅）。2分間（5分間）操作しないと自動的に電源が切れます。電池の駆動時間をできるだけ長くしたいときに使用します。

❗オートプレイ、USB接続時はパワーセーブは無効になります。

セットアップと再生モードではスリープは機能しませんが、しばらく放置（2分間または5分間）すると自動的に電源が切れます。

スリープしているときにシャッターボタンを半押しすると、撮影可能状態に復帰します。素早く撮影可能になるので便利です。

❗シャッターボタン以外のボタンでも復帰できます。

◆再度電源を入れるには◆

オートパワーオフ（2分間または5分間）したときは、“POWER”（電源）ボタンを押してください。

フォーマット（ xD-ピクチャーカード の初期化）

xD-ピクチャーカード をカメラ用に初期化（フォーマット）します。
プロテクトされているファイルを含むすべてのコマ（ファイル）を消去しますので、消去したくない重要なコマ（ファイル）は、パソコンなどにコピーしてください。

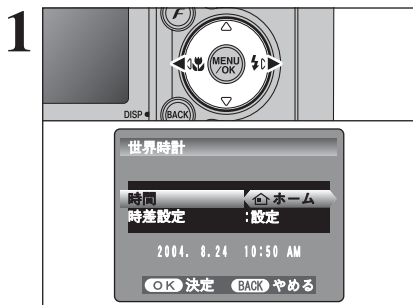
①“◀▶”で“実行”を選びます。
②“MENU/OK”ボタンを押すとすべてのコマ（ファイル）が消去され、 **xD-ピクチャーカード** が初期化されます。

❗フォーマットする前に“カードエラー”“記録できませんでした”“再生できません”“フォーマットされていません”が表示された場合は、88ページを参照し対処してください。

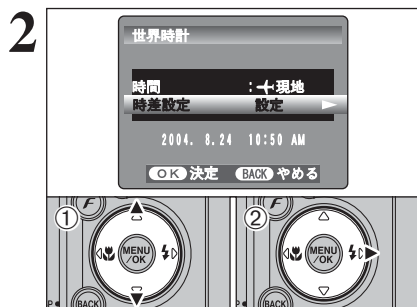
4 各種設定編

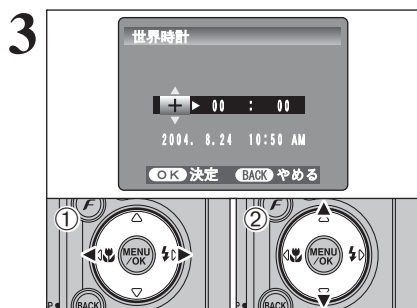
世界時計（時差の設定）

現在設定されている日時に対して、時差を設定します。設定を有効にすると撮影時間が時差の設定に合わせた時間になります。旅行先で時差がある場合に便利です。

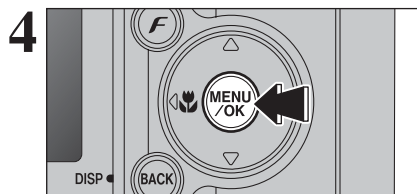
1

“◀▶” で “⌂ホーム” と “✈現地” を切り換えます。
時差を設定するときは “✈現地” にします。

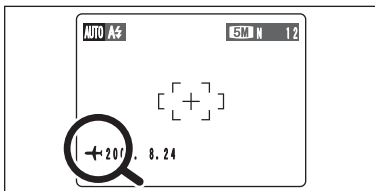
⌂ホーム：お住まいの地域
✈現地　：旅行先

2

①“▲▼” で “時差設定” を選択します。
②“▶” を押します。

3

①“◀▶” で “＋、－、時、分” を選択します。
②“▲▼” で設定します。

●設定可能時間
　－23：45～＋23：45（15分単位）

4

設定が終了したら、必ず “MENU/OK” ボタンを押します。

5

世界時計を設定すると撮影モードにしたときに、3秒間、液晶モニターに “✈” が表示され日付が黄色になります。

旅行先から戻ったら、世界時計の設定を必ず “⌂ホーム” に設定し直してください。

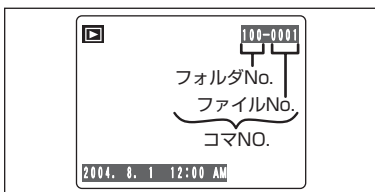
コマNO.（コマNO.メモリー）

コマNO.を連番にするか新規にするかを設定します。

連番：最後に使用した xD-ピクチャーカード の「最終ファイルNo.」から続けて撮影

新規： xD-ピクチャーカード ごとに「ファイルNo. 0001」から撮影

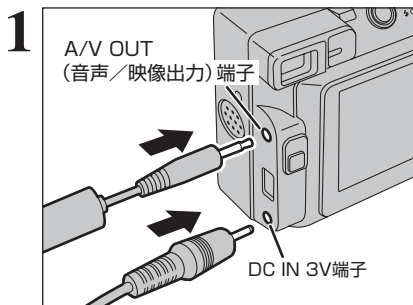
“連番” は、パソコンなどに画像を取り込んだときにファイル名が重複しないので、ファイルの管理に便利です。

- “📷リセット” を実行した場合、コマNO.の設定（“連番” または “新規”）は “連番” になりますが、コマNO.自体は “0001” に戻りません。
- 記憶した「最終ファイルNo.」より、大きいファイルNo.の画像が xD-ピクチャーカード にあった場合、大きいファイルNo.の続きから撮影されます。

画像を再生するとファイルNo.を確認できます。液晶モニターの右上の7けたの数字のうち下4けたがファイルNo.で、上3けたはフォルダNo.です。

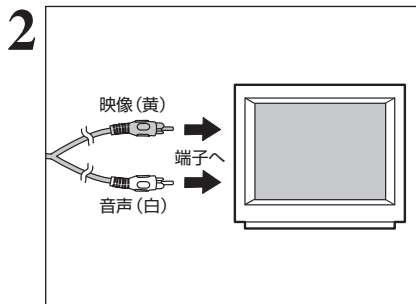
- xD-ピクチャーカード を交換するときは、必ず電源を切ってから電池カバーを開けてください。電源を切らずに電池カバーを開けると、コマNO.の連番が機能しないことがあります。
- ファイルNo.は0001から9999までで、それを超えるとフォルダNo.が1つ繰り上がります。最大で999－9999までカウントされます。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマNO.表示が異なる場合があります。
- “[コマNO.の上限です]” が表示されたときは88ページをご参照ください。

テレビに接続する、ACパワーアダプター（別売）を使う

テレビに接続する

1

カメラとテレビの電源を切ります。カメラの“A/V OUT”（音声／映像出力）端子に専用A/Vケーブル（付属品）のプラグを接続します。

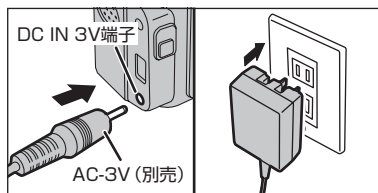
- コンセントが近くにある場合は、ACパワーアダプターAC-3Vを接続することをおすすめします。

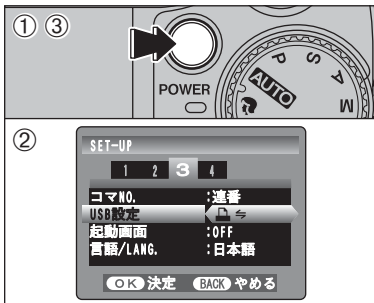
2

テレビの映像入力端子にピンプラグを接続し、カメラとテレビの電源を入れて通常どおり撮影、再生を行ってください。

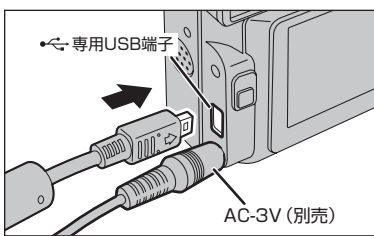
- テレビの映像入力については、テレビの説明書をご参照ください。
- 動画を再生すると、静止画に比べて画質は低下します。

ACパワーアダプター（別売）を使う

必ず、弊社製「ACパワーアダプター AC-3V」をお使いください（➡81ページ）。
パソコンへ撮影した画像などを転送するなど、電源が切れては困るときに使用します。また、電池の消耗を気にせず撮影、再生することができます。

- ACパワーアダプターの接続および取り外しは、カメラの電源が切れているときに行ってください。カメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の画像、動画は記録されません。また、 xD-ピクチャーカード の破損やパソコン接続時誤動作の原因になります。

カメラの電源が切れていることを確認します。ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 3V”端子に奥まで差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

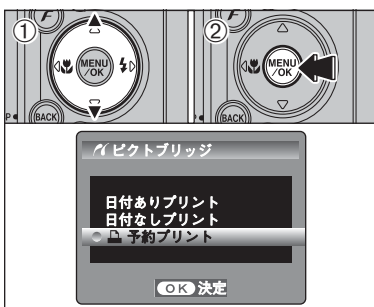
- 弊社専用品以外をご使用になった場合の不具合は保証いたしかねます。
- ACパワーアダプターについてのご注意は85ページをご参照ください。

ACパワーアダプターを接続しても、単3形ニッケル水素電池の充電はできません。単3形ニッケル水素電池の充電には別売の充電器（➡81ページ）が必要です。

カメラとプリンターを直接つないでプリントする(PictBridge機能)

PictBridge(ピクトブリッジ)対応のプリンターがあれば、パソコンを使わないでカメラとプリンターを直接つないでプリントできます。

PictBridge機能は、カメラで撮影した画像以外ではプリントできない場合があります。

カメラでプリント予約(DPOF)の設定をしてプリントする

1

①"POWER"(電源)ボタンを押して電源を入れます。
②SET-UPの"USB設定"を"🖶⇆"にします(➡67ページ)。
③"POWER"(電源)ボタンを押して、電源を切ります。

USB設定が"🖶⇆"のまま、パソコンと接続しないでください。誤ってパソコンと接続した場合は、91ページを参照してください。

2

①カメラとプリンターをFinePix E510専用USBケーブルで接続します。
②プリンターの電源を入れます。

本機では用紙サイズ設定や印字品質などプリンターの設定はできません。
カメラにACパワーアダプター AC-3Vを接続することをおすすめします。
本機でフォーマットした xD-ピクチャーカード をご使用ください。

3

①モードスイッチを"▶"に合わせます。
②"POWER"(電源)ボタンを押して電源を入れます。
"接続先確認中"と表示され、しばらくするとメニュー画面が表示されます。

メニュー画面が表示されない場合は、USB設定が"🖶⇆"になっているか確認してください。
プリンターによっては使えない機能があります。

4

①"▲▼"で"🖶予約プリント"を選びます。
②"MENU/OK"ボタンを押します。

"🖶予約がありません"と表示された場合はプリント予約されていません。
予約プリントでプリントする場合は、あらかじめ本機でプリント予約する必要があります(➡59ページ)。
プリント予約で"日付あり設定"に設定しても、日付プリントに対応していないプリンターの場合、日付が印字されません。

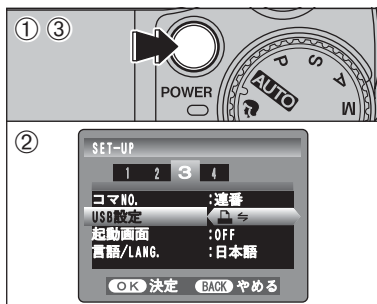
次ページにつづく

5

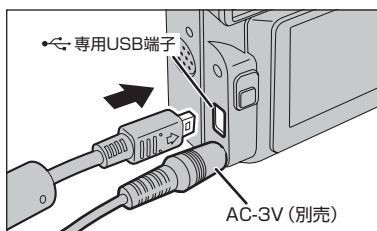
“MENU/OK” ボタンを押すとデータが転送され、プリント予約したコマが連続してプリントされます。

❗“BACK（DISP）” ボタンを押すとプリントを中止できます。プリンターによってはすぐにプリントを中止できない場合や、プリントの途中で停止する場合があります。動作の途中で動かなくなった場合は、カメラの電源をいったん切って、もう一度入れ直してください。

プリント予約（DPOF）を使わず、コマを指定してプリントする（1コマプリント）

1

①“POWER”（電源）ボタンを押して電源を入れます。
②SET-UPの “USB設定” を “⇋” にします（➡67ページ）。
③“POWER”（電源）ボタンを押して、電源を切ります。

❗USB設定が “⇋” のまま、パソコンと接続しないでください。誤ってパソコンと接続した場合は、91ページをご参照ください。

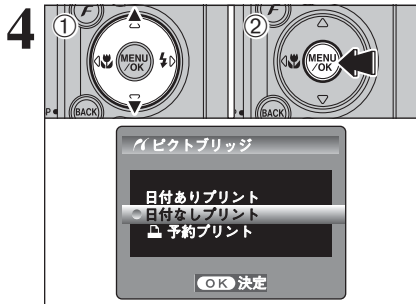
2

①カメラとプリンターをFinePix E510専用USBケーブルで接続します。
②プリンターの電源を入れます。

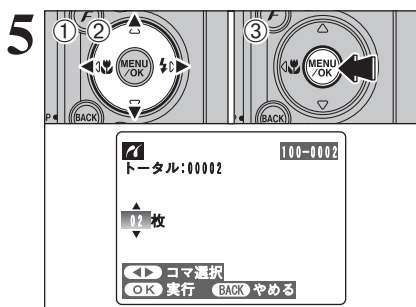
❗本機では用紙サイズ設定や印字品質などプリンターの設定はできません。
❗カメラにACパワーアダプター AC-3Vを接続することをおすすめします。
❗本機でフォーマットした **xD-ピクチャーカード** をご使用ください。

3

①モードスイッチを “▶” に合わせます。
②“POWER”（電源）ボタンを押して電源を入れます。
“接続先確認中” と表示され、しばらくするとメニュー画面が表示されます。

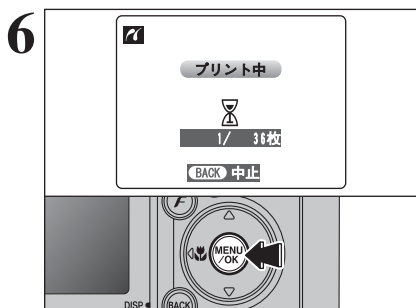
❗メニュー画面が表示されない場合は、USB設定が “⇋” になっているか確認してください。
❗プリンターによっては使えない機能があります。

4

① "▲▼" で "日付なしプリント" か "日付ありプリント" を選びます。"日付ありプリント" にすると、プリントに日付が印字されます。
② "MENU/OK" ボタンを押します。

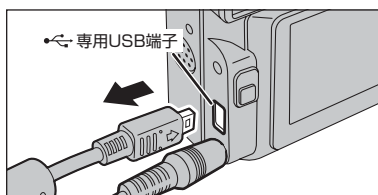
日付プリントに対応していないプリンターに接続した場合は、"日付ありプリント" が選択できません。

5

① "◀▶" で設定するコマ(ファイル)を選びます。
② "▲▼" でプリントするコマ(ファイル)にプリント枚数を99枚まで設定できます。プリントしないコマ(ファイル)はプリント枚数を0枚に設定します。
続けて設定するには①②を繰り返します。
③設定が終了したら、必ず "MENU/OK" ボタンを押します。

動画はプリントできません。

6

"MENU/OK" ボタンを押すとデータが転送され、指定された枚数のプリントが開始されます。
プリントが完了したら "BACK (DISP)" ボタンを押してください。

"BACK (DISP)" ボタンを押すとプリントを中止できます。プリンターによってはすぐにプリントを中止できない場合や、プリントの途中で停止する場合があります。動作の途中で動かなくなった場合は、カメラの電源をいったん切って、もう一度入れ直してください。

◆プリンターと接続を切るには◆

①カメラの液晶モニターに "プリント中" と表示されていないことを確認します。
②カメラの電源を切り、USBケーブルを取り外します。

パソコンと接続する

USB接続で利用できる機能の概要と接続方法を説明します。

カメラをパソコンに初めて接続する際は、接続する前に、付属のCD-ROMを使ってパソコンにソフトウェアをすべてインストールする必要があります。インストールする前にカメラをパソコンに接続すると正常に接続できなくなる場合があります。
別冊のソフトウェア取扱ガイドをご覧になって、正しくソフトウェアをインストールしてください。

CD-ROM
「Software for FinePix AX」　ソフトウェア取扱ガイド

カードリーダー機能について

xD-ピクチャーカード から簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェース接続により、高速にファイル転送が行えます(➡77ページ)。

WEB カメラ機能について

インターネット接続されたパソコン同士でテレビ電話が楽しめます。

- WEB カメラ機能はWindows XP(SP1)で使用できます。
- WEB カメラ機能を使用するにはWindows Messenger 5.0以降が必要です。
- WEB カメラ機能を使用してビデオチャットを行うには、相手のOSもWindows XP(SP1)である必要があります。

◆パソコンと接続するときの注意◆

- ACパワーアダプターAC-3V(別売)を使った接続をおすすめします(➡85ページ)。通信中に電源が切れると、 xD-ピクチャーカード 内のファイルなどが壊れることがあります。
- 通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。通信中に電源が切れると、 xD-ピクチャーカード 内のファイルを破壊する可能性があります。
- Windows XPおよびMac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です。
- FinePix E510専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください。
- Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
- USB接続時はパワーセーブしません。
- xD-ピクチャーカード の交換は、必ず79ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。
- パソコンで “コピー中” の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのファインダーランプが緑色に点灯していることを確認してください。

カードリーダー接続方法

1

①撮影した **xD-ピクチャーカード** をカメラにセットします。
②“POWER”(電源)ボタンを押して電源を入れます。
③SET-UPの“USB設定”を“⇋”にします(➡67ページ)。
④“POWER”(電源)ボタンを押して、電源を切ります。

2

①パソコンの電源を入れます。
②FinePix E510専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
③“POWER”(電源)ボタンを押して電源を入れます。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください(➡79ページ)。

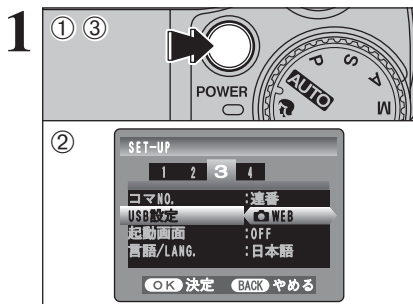
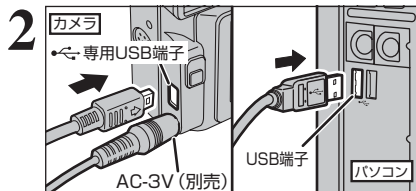
Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
- 液晶モニターには“(⇋ カードリーダー)”と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブしません。

5
接続編

WEB カメラ接続方法

1

①"POWER"（電源）ボタンを押して電源を入れます。
②SET-UPの"USB設定"を"WEB"にします（➡67ページ）。
③"POWER"（電源）ボタンを押して、電源を切ります。

2

①パソコンの電源を入れます。
②FinePix E510専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
③"POWER"（電源）ボタンを押して電源を入れます。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください（➡79ページ）。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

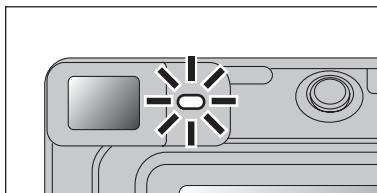
カメラの動作

- パソコンに接続するとズーム位置は固定されます。あらかじめズームボタンで使用する画角に合わせてからパソコン接続してください。
- 液晶モニターには"WEB カメラ"と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブしません。

パソコンと接続を切るには（必ず行ってください）

1 カメラを利用しているアプリケーション（FinePixViewerなど）をすべて終了します。

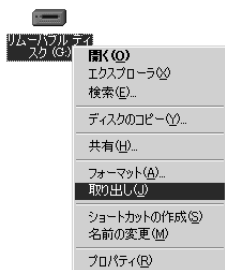
カードリーダー接続の場合は、**2**に進みます。WEB カメラ接続の場合は、**3**に進みます。

2 カメラの電源を切る前の作業を行います。この手順は、ご使用のOS（パソコン）によって違います。

ファインダーランプが緑色に点灯していること（パソコンと通信していないこと）を確認します。

パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのファインダーランプが緑色に点灯していることを確認してください。

■Windows 98/98 SE
パソコンでの操作は必要ありません。

■Windows Me/2000 Professional/XP

❶マイコンピュータの中の“リムーバブルディスク”アイコンを右クリックし、取り出しをクリックします。この操作はWindows Meのみ必要です。

❷タスクバー上の取り外しアイコンを左クリックします。

＊Windows Meの画面です。

❸下図のメニューが表示されますので、メニュー上をクリックします。

USB ディスク - ドライブ (G:) の停止

＊Windows Meの画面です。

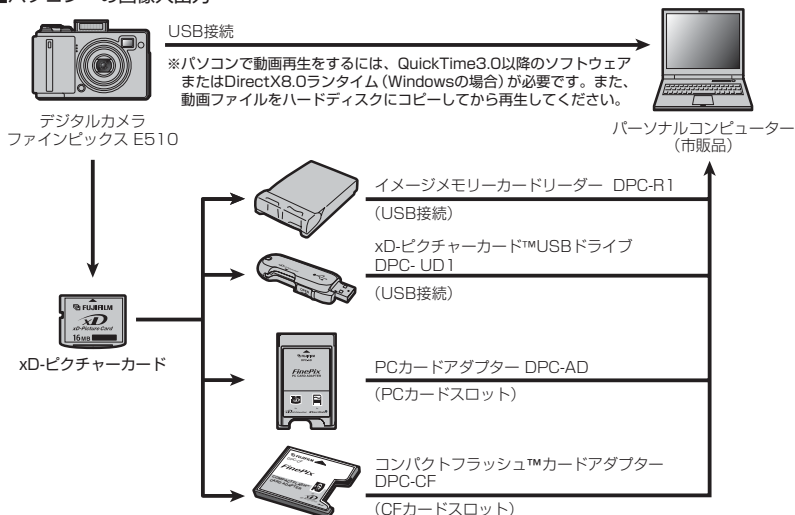
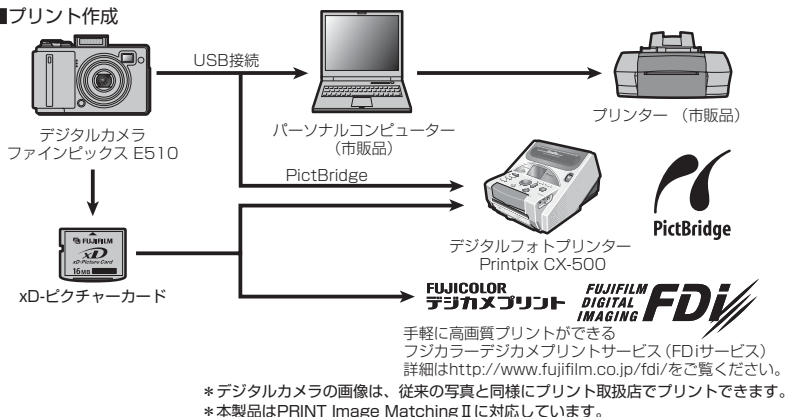
❹“ハードウェアの取り外し”ダイアログが表示されますので、“OK”ボタンかクローズボタンをクリックしてください。

■Macintosh
デスクトップの“リムーバブルドライブ”アイコンを、ゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

ゴミ箱にドラッグ＆ドロップすると、カメラの液晶モニターに“取り外しOK”と表示されます。

3 カメラの電源を切り、FinePix E510専用USBケーブルを取り外します。

システムアップ機器（別売）（平成16年9月現在）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

その他 別売アクセサリーの紹介（平成16年9月現在）

▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

※最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。
http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/
※価格はメーカー希望小売価格です。

●イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード ）
以下の種類がお使いいただけます。
- DPC-16（16MB）
- DPC-32（32MB）
- DPC-64（64MB）
- DPC-128（128MB）
- DPC-256（256MB）
- DPC-512（512MB）

※すべてオープン価格

●ACパワーアダプター AC-3V
長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください。

※4,000円（税込み4,200円）

●充電式 ニッケル水素電池2300（FNH HR AA 2B E）
高容量の単3形ニッケル水素電池です。
2本パック「型名 FNH HR AA 2B E」をお買い求めください。

※1,100円（税込み1,155円）

●ニッケル水素／ニカド急速充電器デジチャージ（FNW 1 BX D）
単3形ニッケル水素電池「ニッケル水素電池2300」2本を約115分で充電できます。
海外でも使用可能な電圧（AC100V～240V）、周波数（50/60Hz）対応です（各国のプラグに対応した変換プラグは別途用意してください）。

※4,500円（税込み4,725円）

●ソフトケース　SC-FXE01
牛革／ナイロン製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。

●ワイドコンバージョンレンズ　WL-FXE01
●テレコンバージョンレンズ　TL-FXE01
●アダプターリング　AR-FXE01
詳細は82ページをご覧ください。

●イメージメモリーカードリーダー DPC-R1
イメージメモリーカード（ xD-ピクチャーカード 、スマートメディア）からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USBインターフェースにより高速なファイル転送を行います。
- Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- iMac、iBookおよびUSBインターフェースを標準装備するPower Macintosh（Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5））

※オープン価格

●PCカードアダプター DPC-AD
xD-ピクチャーカード あるいはスマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。2種類のメディアのうちどちらか一方を使用できます。
- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）

※オープン価格

●コンパクトフラッシュ™カードアダプター DPC-CF
xD-ピクチャーカード を挿入するとコンパクトフラッシュ™カード（TYPE Ⅰ）として使用できます。
- Windows 95/98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 8.6～9.2/X（10.1.2～10.1.5）

※オープン価格

●xD-ピクチャーカード™USBドライブ DPC-UD1
xD-ピクチャーカード 専用の小型カードリーダーです。USBポートに差し込むだけでデータの読み込み、書き込みが可能です（Windows 98/98 SEを除いてドライバーのインストールが不要です）。
- Windows 98/98 SE/Me/2000 Professional/XP
- Mac OS 9.0～9.2/X（10.0.4～10.2.6）

※オープン価格

コンバージョンレンズ/アダプターリングの紹介

コンバージョンレンズを使う

■使用できるコンバージョンレンズ

●ワイドコンバージョンレンズ WL-FXE01

レンズのF値を変えずに焦点距離を0.76倍（広角:21.3mm相当）に変換します。取り付けには別売のアダプターリング AR-FXE01が必要です。
倍率：0.76倍
レンズ構成：3群3枚構成
撮影可能距離：約60cm〜無限遠（∞）
外形寸法：φ64.5mm×34mm
質量：約95g
付属品：レンズキャップ（前後）、レンズポーチ

- 広角側での使用をおすすめします。望遠側ではゆがみが大きくなります。
- ワイドコンバージョンレンズ使用時の構図設定は液晶モニターを使用してください。本体ファインダーでは写る範囲が異なります。
- ワイドコンバージョンレンズ使用時は内蔵ストロボを併用できません。
- ワイドコンバージョンレンズを使用して太陽や強烈なライトに向けて撮影すると、ゴースト＊が発生する恐れがあります。
  このような場合は太陽等の強い光源を、撮影できる範囲からできるだけ避けるようにして撮影すると軽減するか消える場合があります。

＊ゴースト
強い光が直接レンズ面に当たり、レンズ内で光が乱反射して光源とは別の場所に光の玉や輪が現れる現象です。

●テレコンバージョンレンズ TL-FXE01

レンズのF値を変えずに焦点距離を1.94倍（望遠：177mm相当）に変換します。取り付けには別売のアダプターリング AR-FXE01が必要です。
倍率：1.94倍
レンズ構成：2群3枚構成
撮影可能距離：約1.2m〜無限遠（∞）
外形寸法：φ46mm×51mm
質量：約64g
付属品：レンズキャップ（前後）、レンズポーチ

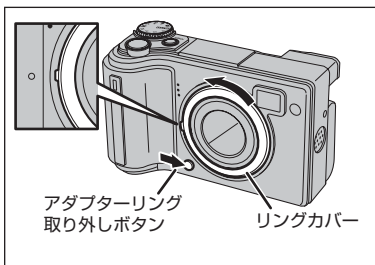
- 望遠側のケラレのない領域でご使用ください。広角側では画像にケラレが生じます。
- テレコンバージョンレンズ使用時の構図設定は液晶モニターを使用してください。本体ファインダーでは写る範囲が異なります。
- テレコンバージョンレンズ使用時は内蔵ストロボを併用できません。

■アダプターリング AR-FXE01

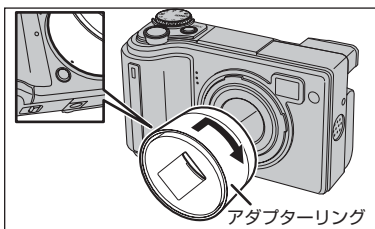
コンバージョンレンズや市販のフィルターを使用する場合に必要です。
使用できるフィルター：φ43mmの市販フィルター１枚
外形寸法：φ46mm×25mm
質量：約11g

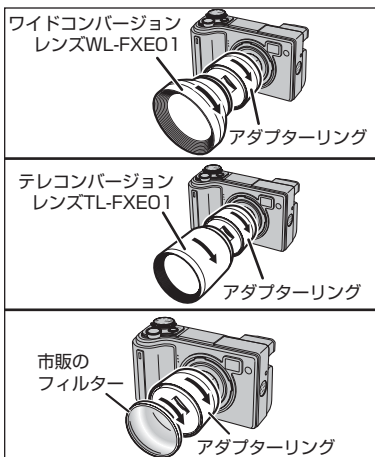
- フィルターを2枚以上重ねて使用しないでください。

■取り付け方法

1

①アダプターリング取り外しボタンを押しながら、矢印の方向にリングカバーを回します。
②アダプターリング取り外しボタンから指を離すとリングカバーが外れます。
③リングカバーを指で持ち上げて取り外します。

取り外したリングカバーは紛失しないようにご注意ください。

2

アダプターリング指標をアダプターリング取り外しボタンに合わせ、矢印の方向に止まるまで回して取り付けます。

3

コンバージョンレンズまたは市販のフィルターを取り付けます。

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所
次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。
- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水、浸水、砂かぶりにご注意
水や砂は本機の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意
本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、xD-ピクチャーカード に水滴がつくことがあります。このようなときは xD-ピクチャーカード を取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは
本機を長時間お使いにならないときは、電池、xD-ピクチャーカード を取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき
- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

使用できる電池

- 本機には、単3形アルカリ乾電池や単3形ニッケル水素電池を使用してください。単3形マンガン乾電池や単3形ニカド電池は、使用できません。
- アルカリ乾電池は銘柄により電池寿命（使用時間）の差があり、本機に付属のアルカリ乾電池に比べ、電池寿命がかなり短い場合があります。

電池の取り扱いについてのご注意

電池の使いかたを誤ると、液もれ、発熱、発火、破裂の恐れがあります。以下の事項をお守りください。
- 火中に投入したり、加熱したりしないでください。
- プラス極とマイナス極を針金などの金属で接続したり、ネックレスやヘアピンなどの金属類と一緒に持ち運んだり保管しないでください。
- 水や海水につけたり、端子部分をぬらさないでください。
- 変形させたり、分解、改造をしないでください。
- 外装チューブをはがしたり、傷をつけないでください。
- 落としたり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えないでください。
- 液もれしている、変形、変色、その他異常に気づいたときは使用しないでください。
- 高温、多湿の場所に保管しないでください。
- 幼児やお子様の手の届く範囲に放置しないでください。
- カメラに電池を入れるときは、極性（⊕と⊖）に注意して表示どおりに入れてください。
- 新しい電池と使用した電池（充電式電池の場合：充電済みの電池と、放電した電池）、あるいは種類やメーカーの異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 長い間使用しないときは、電池を取り出しておいてください（電池を取り外して放置した場合、各種設定がクリアされます）。
- 使用直後の電池は高温になることがあります。電池の取り外しはカメラの電源を切り、電池の温度が下がるのを待ってから行ってください。
- 電池を交換するときは、2本すべてを新しい電池にお取り替えください。新しい電池とは、アルカリ乾電池では「最近購入した未使用のもの」、単3形ニッケル水素電池では「最近同時にフル充電した電池」のことです。
- 寒冷地（＋10℃以下）では電池の性能が低下し、使用可能時間が極端に短くなります。特にアルカリ乾電池はこの傾向がありますので、電池をポケットの中などで温めてからお使いください。また、カイロをお使いの場合は直接電池に触れないようにご注意ください。
- 電池の電極に皮脂などの汚れがあると撮影枚数が極端に少なくなることがあります。電池をセットする前に電極を乾いた柔らかい布で丁寧に清掃してください。

⚠ 万一、液もれが起こったときは、電池挿入部についた液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

⚠ 電池の液が手や衣服に付着したときは、水でよく洗い流してください。また、液が目に入った場合には失明の恐れがあります。こすらずに、きれいな水で洗ったあと、医師の診療を受けてください。

単3形ニッケル水素電池を正しくお使いいただくためのご注意

- デジタルカメラで使用する電池として単3形ニッケル水素電池（以下ニッケル水素電池）は、アルカリ乾電池に比べてカメラで撮影できる枚数が多いなど優れていますが、ニッケル水素電池の本来の電池性能を発揮させるために使用方法にはご注意が必要です。
- お買い上げ時や長い間使用しなかったニッケル水素電池は「不活性」状態になっている可能性があります。また、まだ十分に使用できる状態で充電を繰り返すと「メモリー効果」が生じる可能性があります。
  「不活性」状態や「メモリー効果」が発生したニッケル水素電池では、充電後の使用可能時間が短くなる症状が出てきます。この症状を防ぐにはカメラに内蔵している充電池放電機能を使っての放電と充電を数回繰り返すことにより、「不活性」や「メモリー効果」によって一時的に低下した電池性能を回復させ、ニッケル水素電池本来の性能を発揮させることができます。
  「不活性」や「メモリー効果」はニッケル水素電池固有のもので、故障ではありません。
  「充電池放電」操作は86ページを参照ください。

アルカリ乾電池使用時は「充電池放電」機能を使用しないでください。

- 単3形ニッケル水素電池の充電は、専用の急速充電器（別売）を使用し、急速充電器の「使用説明書」の指示に従って正しく行ってください。
- 急速充電器（別売）では、指定外の電池を充電しないでください。
- 充電直後の電池は高温になっていることがありますので、ご注意ください。
- カメラの機構上、電源を切っても微小電流が流れています。単3形ニッケル水素電池を長期間カメラに入れたままにすると過放電状態になり、充電しても使えなくなることがありますので特にご注意ください。
- 単3形ニッケル水素電池は使わなくても自然放電しており、使用可能時間が短くなることがあります。
- 単3形ニッケル水素電池はクレードルとカメラの組み合わせでは充電できません。
- ニッケル水素電池は、放電し過ぎると急速に劣化します（懐中電灯などでの放電）。放電はカメラの「充電池放電」機能をご使用ください。
- ニッケル水素電池にも寿命があります。放電と充電を繰り返しても使用可能時間が短い場合は、寿命の可能性があります。

■電池の破棄について

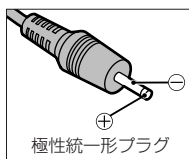
電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

ニッケル水素電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。

詳細は、「有限責任中間法人JBRC」のホームページをご参照ください。

［ホームページ］http://www.JBRC.com/

ACパワーアダプターについてのご注意

極性統一形プラグ

必ず専用のACパワーアダプターAC-3V（別売、JEITA規格、極性統一形プラグ付き）をお使いください。

弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因となることがあります。

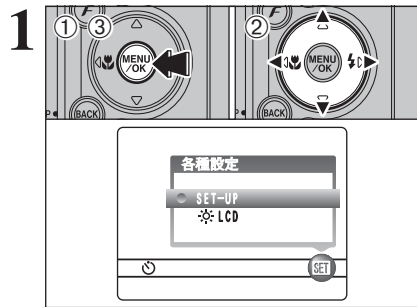
- 室内専用です。
- カメラのDC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- カメラのDC入力端子から接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

ニッケル水素電池の充電池放電の操作

充電池放電機能は、ニッケル水素電池のみでご使用ください。
アルカリ乾電池で充電池放電機能を使用すると、乾電池が使用できなくなります。

以下のようなときに充電池放電をご使用ください。
- 充電後の使用可能時間が短くなったとき
- 長期間使用しなかったとき
- 新しくニッケル水素電池または充電式電池を購入したとき

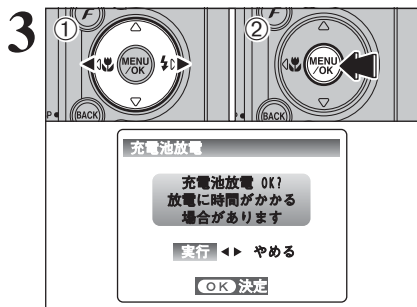
カメラにACパワーアダプターを使用しているときは、充電池放電を行わないでください。外部から電源供給されるためカメラ内のニッケル水素電池は放電されません。

1

①“MENU/OK” ボタンを押します。
②“◀▶”で“SET”各種設定を選び、“▲▼”で“SET-UP”を選びます。
③“MENU/OK” ボタンを押します。

❗アルカリ乾電池は充電池放電の操作を行わないでください。

2

①“◀▶”で見出し番号4に切り換え、“▲▼”で“充電池放電”を選びます。
②“▶”を押します。

3

①“◀▶”で“実行”を選びます。
②“MENU/OK” ボタンを押します。
画面が切り換わり放電が開始されます。電池残量表示が赤点灯から赤点滅になり放電が終了すると、カメラの電源が切れます。

❗放電中に操作を中止したいときは “BACK (DISP)” ボタンを押します。

xD-ピクチャーカード™についてのご注意

■ xD-ピクチャーカード について
デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体xD-Picture Card（ xD-ピクチャーカード ）です。
xD-ピクチャーカード の中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。

■ファイル保持について
以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
＊お客様または第三者が xD-ピクチャーカード の使いかたを誤ったとき
＊カメラやパソコンなどから xD-ピクチャーカード へアクセス中（データ通信中など）にカードを取り出したり、機器の電源を切ったとき
＊その他、誤った使いかたをしたとき

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意
● xD-ピクチャーカード は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
● xD-ピクチャーカード をカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
● xD-ピクチャーカード の記録中、消去（フォーマット）中は、絶対に xD-ピクチャーカード を取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。 xD-ピクチャーカード が破壊されることがあります。
●指定以外の xD-ピクチャーカード はお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
● xD-ピクチャーカード は精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
●強い静電気、電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
●高温多湿な場所、または腐食性のある環境下でのご使用、保管は避けてください。
● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）がゴミや皮脂などで汚れた場合は、乾いた柔らかい布などでふいてください。
●保管や持ち運びする場合は専用ケースか専用キャリングケースに入れることをおすすめします。
●静電気を帯びた xD-ピクチャーカード をカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
●ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
●長時間お使いになったあと、取り出した xD-ピクチャーカード が温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
● xD-ピクチャーカード には寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このようなときは新しいものをお買い求めください。
● xD-ピクチャーカード にはラベル類は一切はらないでください。 xD-ピクチャーカード の出し入れの際、故障の原因になります。
●万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しい xD-ピクチャーカード とお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■ xD-ピクチャーカード をパソコンで使用する場合のご注意
●パソコンで使用したあとの xD-ピクチャーカード を使って撮影する場合、 xD-ピクチャーカード のフォーマットはカメラで行ってください。
● xD-ピクチャーカード をカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
●パソコンで xD-ピクチャーカード のフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。 xD-ピクチャーカード がカメラで使用できなくなることがあります。
● xD-ピクチャーカード 上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
●画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。
●カメラで使用するファイル以外のコピーはしないでください。

xD-ピクチャーカード™の主な仕様

形　　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード xD-Picture Card（ xD-ピクチャーカード ）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～+40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	25mm×20mm×2.2mm （幅×高さ×厚み）

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
（赤点灯） （赤点滅）	カメラの電池の残量が減っている、またはない。	新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
!	シャッタースピードが遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボ撮影してください。 三脚の使用をおすすめします。
!AF	AF(オートフォーカス)がうまく働かない。	●暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 ●AFロック撮影をしてください。
フォーカスエラー ズームエラー	カメラが誤作動または故障している。	●レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ●電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
絞り、シャッタースピード表示（赤点灯）	AE連動範囲外。	撮影できますが、適正露出ではありません。
カードがありません	**xD-ピクチャーカード** が入っていない。	**xD-ピクチャーカード** をセットしてください。
フォーマットされていません	● **xD-ピクチャーカード** がフォーマット(初期化)されていない。 ● **xD-ピクチャーカード** の接触面(金色の部分)が汚れている。 ●カメラが故障している。	● **xD-ピクチャーカード** をカメラでフォーマットしてください。 ● **xD-ピクチャーカード** の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は **xD-ピクチャーカード** を交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
カードエラー	● **xD-ピクチャーカード** の接触面(金色の部分)が汚れている。 ● **xD-ピクチャーカード** が壊れている。 ● **xD-ピクチャーカード** のフォーマットが異常。 ●カメラが故障している。	● **xD-ピクチャーカード** の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は **xD-ピクチャーカード** を交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
空き容量がありません	**xD-ピクチャーカード** に空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のある **xD-ピクチャーカード** を使用してください。
ボイス再生できません	●ボイスメモファイルが異常。 ●カメラが故障している。	●ボイスメモを再生することはできません。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
コマNO．の上限です	コマNO.が999―9999に達している。	① フォーマットした **xD-ピクチャーカード** をカメラにセットします。 ② SET-UPメニューでコマNO.を「新規」にします。 ③ 撮影します(コマNO.が「100-0001」より開始されます)。 ④ SET-UPメニューでコマNO.を「連番」にします。
記録できませんでした	● **xD-ピクチャーカード** と本体の接触異常または **xD-ピクチャーカード** の異常のため記録できない。 ●撮影した画像が **xD-ピクチャーカード** の空き容量を超えて記録できない。	● **xD-ピクチャーカード** を入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●新しい **xD-ピクチャーカード** を使用してください。
再生できません	●正常に記録されていないファイルを再生しようとした。 ● **xD-ピクチャーカード** の接触面(金色の部分)が汚れている。 ●カメラが故障している。 ●本機以外で記録した動画を再生しようとした。	●再生することはできません。 ● **xD-ピクチャーカード** の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合は **xD-ピクチャーカード** を交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●再生することはできません。

警告表示	警告内容	処　置
プロテクトされています	● プロテクトされているファイルを消去しようとした。 ● プロテクトされているファイルにボイスメモを付けようとした。	● プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。 ● プロテクトしたファイルにボイスメモは付けられません。プロテクトを解除してください。
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一 **xD-ピクチャーカード** 内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。別の **xD-ピクチャーカード** にプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
03M トリミングできません	0.3Mの画像をトリミングしようとした。	トリミングはできません。
トリミングできません	● 本機以外で撮影した画像をトリミングしようとした。 ● 画像が壊れている。	トリミングはできません。
設定できません	プリント予約できない画像をプリント予約しようとした。	画像の形式上プリント予約できません。
接続できませんでした	パソコンまたはプリンターとの通信ができなかった。	● 専用USBケーブルの接続を確認してください。 ● プリンターの電源が入っているか確認してください。
プリンターエラー	PictBridgeに関する表示。	● プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。 ● プリンターの電源をいったん切ってから、再度入れてください。 ● お使いのプリンターの使用説明書をお読みください。
プリンターエラー 再開しますか？	PictBridgeに関する表示。	プリンターの用紙切れやインク切れがないか確認してください。プリンターエラーを解消すると自動的にプリントが再開されます。確認後もエラーメッセージが消えない場合は “MENU/OK” ボタンを押して、プリントを再開してください。
プリントできません	PictBridgeに関する表示。	● お使いのプリンターの使用説明書をご覧になり、プリンターがJFIF-JPEG、Exif-JPEG形式の画像フォーマットに対応しているかご確認ください。対応していない場合はプリントできません。 ● 本機で撮影したデータですか？ 本機で撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリントできない コマです	PictBridgeに関する表示。	● 動画はプリントできません。 ● 本機で撮影したデータですか？ 本機で撮影したデータ以外はプリントできないことがあります。
プリンター優先操作中（予約プリント中）	PictBridgeに関する表示。	PictBridge対応の弊社製プリンターからプリント操作を行ったときに表示されます。詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。

困ったときは

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
電源が入らない。	●電池が消耗している。 ●電池が逆に入っている。 ●電池カバーが正しく閉まっていない。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。	●新しい電池または充電済みの電池と交換してください。 ●電池を正しい方向に入れてください。 ●電池カバーを正しく閉めてください。 ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。
電源が途中で切れる。	電池が消耗している。	新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
電池の消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●電池の寿命。 ●充電式電池の場合は電池が不活性化している、またはメモリー効果により電池の能力が落ちている。	●電池をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。 ●電池の端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しい電池と交換してください。 ●充電池放電機能を用いて充電式電池の能力を回復させてください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	● xD-ピクチャーカード が入っていない。 ● xD-ピクチャーカード に空き容量がなく、これ以上記録できない。 ● xD-ピクチャーカード がフォーマットされていない。 ● xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。 ● xD-ピクチャーカード が壊れている。 ●オートパワーオフになり、電源が切れた。 ●電池が消耗している。	● xD-ピクチャーカード を入れてください。 ●新しい xD-ピクチャーカード を入れるか、不要なコマを消去してください。 ●カメラでフォーマットしてください。 ● xD-ピクチャーカード の接触面を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しい xD-ピクチャーカード を入れてください。 ●電源を入れてください。 ●新しい電池または充電済みの電池と交換してください。
ストロボ撮影ができない。	●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 ●ストロボが閉じている。 ●撮影モードが“▲”風景に設定されている。	●ストロボの充電が完了してからシャッターボタンを押してください。 ●ストロボをポップアップしてください。 ●撮影モードを変更してください。
ストロボの設定を制限されて選べない。	撮影モードが“▲、🏃、☾”に設定されている。	シーンに合わせた設定になるため制限されます。ストロボの設定を重視するときは撮影モードを変更してください。
ストロボが発光したのに撮影した画像が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボ/ストロボ調光センサーに指が掛かっている。	●ストロボ撮影可能距離内で撮影してください。 ●カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●暗い被写体を撮影した。 ●マクロを設定したまま、遠景を撮影した。 ●マクロを設定しないで、近距離を撮影した。 ●オートフォーカスの苦手な被写体を撮影した。	●レンズを清掃してください。 ●被写体から2m程度離れて撮影してください。 ●マクロを解除してください。 ●マクロを設定してください。 ●AF/AEロック撮影をしてください。
画像に点状のノイズがある。	気温が高い環境でスローシャッター（長時間露光）撮影した。	CCDの特性によるもので故障ではありません。
xD-ピクチャーカード のフォーマットができない。	xD-ピクチャーカード の接触面（金色の部分）が汚れている。	xD-ピクチャーカード の接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。
1コマ消去でコマが消せない。	コマがプロテクトされている。	プロテクトしたカメラでプロテクトを解除してください。
全コマの消去で、すべてのコマが消せない。		

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
液晶モニターに日本語以外の言語が表示される。	SET-UPの「言語/LANG.」で日本語以外の言語が設定されている。	① “MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。 ② “◀▶” を押して “SET” を選び、“▲▼” を押して “SET-UP” を選びます(SET-UP画面が表示されます)。 ③ “◀▶” で見出し番号3に切り換え “▲▼” で「言語/LANG.」を選択します。 ④ “◀▶” を何回か押して「日本語」に変更します。 ⑤ “MENU/OK” ボタンを押します。
カメラから音が出ない。	● カメラの音量設定が小さくなっている。 ● 撮影/録音中にマイクをふさいでいる。 ● 再生中にスピーカーをふさいでいる。	● 音量を調節してください。 ● 撮影/録音時はマイクをふさがないでください。 ● スピーカーをふさがないでください。
テレビに画像が出ない。	● カメラとテレビの接続が間違っている。 ● テレビの入力が「テレビ」になっている。 ● ビデオ出力が “PAL” になっている。	● 正しく接続し直してください。 ● テレビの入力を「ビデオ」にしてください。 ● “NTSC” に設定してください(➡68ページ)。
テレビの画像が黒白になる。	ビデオ出力が “PAL” になっている。	“NTSC” に設定してください(➡68ページ)。
PC(パソコン)接続で、カメラの液晶モニターに撮影画面が表示される。	● PCまたはカメラにFinePix E510専用USBケーブルが正しく接続されていない。 ● PCの電源が入っていない。	● 正しく接続してください。 ● PCの電源を入れてください。
カメラが正常に動作しなくなった。	カメラが予期しない状態になっている。	電池、ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
PictBridgeでプリントできない。	SET-UPのUSB設定が “🖶⇋” になっていない。	SET-UPのUSB設定を “🖶⇋” にしてください。
USB設定が “🖶⇋” のままパソコンに接続した。		下記手順に従いカメラをパソコンから取り外してください。 ● Windowsの場合 ①「新しいハードウェア」(または「スキャナとカメラ」)ウィザードが表示されます。 ウィザードが表示されない場合は、③に進んでください。 ②「キャンセル」ボタンをクリックします。 ③パソコンからカメラを取り外します。 ● Macintoshの場合 ① ドライバを探す画面などが表示されます。 画面が表示されない場合は、③に進んでください。 ②「キャンセル」ボタンをクリックします。 ③パソコンからカメラを取り外します。

主な仕様

システム

型式	デジタルカメラ
有効画素数	520万画素
撮像素子	1/2.5型正方画素原色インターライン方式CCD (総画素数：536万画素)
記録メディア	xD-ピクチャーカード 16/32/64/128/256/512MB
記録方式	静止画：DCF準拠(Exif Ver.2.2 JPEG準拠)/DPOF対応 動　画：DCF準拠(AVI形式 Motion JPEG)
記録画素数(ピクセル)	静止画：2592×1944/2048×1536/1600×1200/640×480 (5M/3M/2M/03M) 動　画：320×240/160×120(10フレーム/秒)、モノラル音声付
レンズ	フジノン光学式3.2倍ズームレンズ 開　放：F2.9〜F5.5
焦点距離	f=4.7mm〜15.1mm (35mmフィルム換算：28mm〜91mm相当)
フォーカス	TTLコントラスト方式　オートフォーカス/マニュアルフォーカス
撮影可能範囲	標　準：約60cm〜∞ マクロ：約6.7cm〜約80cm スーパーマクロ：約2.6cm〜約15cm
シャッタースピード	2秒〜1/2000秒(メカニカルシャッター併用)
絞り	F2.9〜F8/F5.5〜F8　自動切り換え
撮像感度	撮影モード AUTO時：AUTO(ISO 80〜320、撮影条件により範囲が異なります。)、ISO 80/100/200/400 撮影モード 、、、、P、S、A、M時：ISO 80/100/200/400
測光方式	TTL64分割測光 マルチ、スポット
露出制御	プログラムAE(AUTO、P、、、、)/シャッタースピード優先AE/絞り優先AE/マニュアル露出
露出補正	−2EV〜+2EV　1/3EVステップ(マニュアル撮影モード時)
ホワイトバランス	撮影モード AUTO、、、、時：フルオート 撮影モード P、S、A、M時：7ポジション選択可能
ファインダー	実像式光学ファインダー　視野率 約80%
液晶モニター	2.0型(対角約5.1cm)アスペクト比4：3　15.4万画素 低温ポリシリコンTFT 視野率約96%
ストロボ	方式：調光センサーによるオートストロボ 撮影可能距離：広角：約0.6m〜約4.1m(約0.3m〜約0.8m：マクロ) 望遠：約0.6m〜約2.0m 発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/スローシンクロ/赤目軽減＋スローシンクロ
セルフタイマー	約10秒

入・出力端子

A/V OUT (音声／映像出力)端子	NTSC/PAL方式 ステレオミニミニ(φ2.5mm)ジャック
(専用USB)端子	パソコンへのファイル転送
DC入力端子	専用ACパワーアダプター AC-3V(別売)接続

電源部、その他

電源	単3形アルカリ乾電池 2本使用 単3形ニッケル水素電池 2本使用（別売） 専用ACパワーアダプター AC-3V使用（別売）
使用条件	温度0℃〜+40℃　湿度80%以下（結露しないこと）
電池作動可能枚数の目安	（下表参照）

電池の種類	撮影枚数
単3形アルカリ乾電池 LR6	約100枚
単3形ニッケル水素電池 HR-AA（ニッケル水素2300）	約290枚

CIPA（カメラ映像機器工業会：Camera & Imaging Products Association）規格による電池寿命測定方法（抜粋）：アルカリ乾電池は付属のものを使用。ニッケル水素電池は富士フイルムアクシア製ニッケル水素電池2300を使用。記録メディアは xD-ピクチャーカード を使用。液晶モニターON、温度（23℃）、30秒毎に1回撮影。撮影ごとに光学ズームを広角側と望遠側で交互に繰り返して端点まで移動し、2回に1回ストロボをフル発光、10回に1回電源OFF/ONして撮影。

● 注意：アルカリ乾電池の容量やニッケル水素電池の充電容量により撮影可能枚数の変動があるため、ここに示す電池作動可能枚数を保証するものではありません。低温時では電池作動可能枚数が少なくなります。

本体外形寸法	101mm×60.5mm×32.6mm（幅×高さ×奥行き）＊突起部含まず
本体質量	約176g（電池、 xD-ピクチャーカード 含まず）
撮影時質量	約225g（電池、 xD-ピクチャーカード 含む）
付属品	5ページをご覧ください。
別売アクセサリー	81ページをご覧ください。

■ xD-ピクチャーカード 標準撮影枚数/記録時間

撮影枚数/記録時間/ファイルサイズは被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数は xD-ピクチャーカード の容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル	5M F	5M N	3M	2M	03M	動画 320	動画 160
記録画素数	2592×1944（約504万）	2592×1944（約504万）	2048×1536（約315万）	1600×1200（約192万）	640×480（約31万）	320×240	160×120
画像1枚のファイルサイズ	2.5MB	1.2MB	780KB	620KB	130KB	—	—
DPC-16（16MB）	6	12	19	25	122	1分34秒	4分48秒
DPC-32（32MB）	12	25	40	50	247	3分9秒	9分42秒
DPC-64（64MB）	25	50	81	101	497	6分21秒	19分29秒
DPC-128（128MB）	51	102	162	204	997	12分44秒	39分3秒
DPC-256（256MB）	102	204	325	409	1997	25分30秒	78分11秒
DPC-512（512MB）	205	409	651	818	3993	51分00秒	156分20秒

＊仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊レンズの特性により撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

用語の解説

EV	：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。 CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。
Exif（イグジフ） ファイル形式	：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。
JPEG（ジェイペグ）	：Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。
Motion JPEG （モーション ジェイペグ）	：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマットAVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。 パソコンでは下記のソフトで再生できます。 Windows　：Windows Media Player　＊DirectX8.0以降必要 Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降
WAVE（ウェイブ）	：音声を保存するためのWindowsにおける標準フォーマットで、拡張子は“.WAV”です。 記録形式には非圧縮記録と圧縮記録があります。本機では非圧縮記録を採用しています。 パソコンでは下記のソフトで再生できます。 Windows　：Windows Media Player Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降
スミア	：撮影画面内に太陽やその反射光など非常に明るい輝点があるときに、画像に白いスジが写るCCD特有の現象。
ホワイトバランス	：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。
不活性	：ニッケル水素電池は、長期間使用しないで保管されていたとき、電池内部に電気が流れにくい物質が増加し休眠状態になる場合があります。このような電池の状態を不活性と呼びます。 不活性状態のニッケル水素電池は電気が流れにくいため本来の電池性能を発揮することができない場合があります。
フレームレート	：フレームレートとは1秒間に撮影または再生される画像の数（コマ数）を表す単位で、例えば1秒間に10コマを連続して撮影している場合は10フレーム/秒と記します。 参考　テレビは約30フレーム/秒です。
メモリー効果	：ニッケル水素電池を最後まで使い切らないで充電する操作を繰り返すと、本来の電池性能が低下する場合があります。このような現象をメモリー効果と呼びます。

アフターサービスについて

保証書

● 保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
● 保証期間は、お買上げ日より1年間です。この期間は保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを
本書の「困ったときは」をご覧ください。
使いかたの問題か、故障か迷うときは、弊社FinePixサポートセンターへお問い合わせください。

■故障と思われるときは
弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。依頼方法は、下記の中からお客様のご都合によりお選びください。
①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただく
②弊社サービスステーションにお持ちいただく(持込修理)お急ぎのお客様は「FinePix特急修理30分」をご利用ください。
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただく(送付修理)
④お買上げ店にお持ちいただく
なお、集配ルートの都合上、④の方法よりは、①もしくは②、③の方法が、お預かりの期間は短くなります。
上記①の場合のサービス料金、②④の場合の交通費、③の場合の送料などの諸費用はお客様にてご負担願います。

■修理ご依頼に際してのご注意
● 保証規定による修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。
● 修理品の持込修理/送付修理を弊社サービスステーションに依頼される場合には、「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
● 修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
● 修理料金のお見積もりをご希望の場合は、「修理依頼票」の「お見積もり」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。なお、お見積もりは有料となります。
● 落下、衝撃、砂、泥かぶり、冠水、浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合は、修理をお断りする場合があります。

■修理部品の保有期間
本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■交換した部品について
交換した部品は、今後の品質向上に役立てるため、弊社にて引き取らせていただいております。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

■修理料金の支払い方法について
①FinePixクイックリペアサービスをご利用いただいた場合
修理完了品は、代金引換となりますので、サービス料金とともに、運送業者に直接現金でお支払いください。
②弊社サービスステーションにお持ちいただいた場合(持込修理、特急修理30分)
修理完了品お引き取り時、窓口でお支払いください。
③弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただいた場合(送付修理)
修理完了品は、代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
④お買上げ店にお持ちいただいた場合
お持ちいただいたお店にご確認ください。

アフターサービスについて

■修理の受付は…

修理品の「FinePix特急修理30分」、「FinePixクイックリペアサービス」、「持込修理」、「送付修理」の申し込み方法、受付場所を記載します。
下記に記載する修理サービスにおける修理品お預かり期間は、お買上げ店へお持ちいただく場合よりも、はるかに短くなります。

●【FinePix特急修理30分】：30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービスです。

・下記7カ所の富士フイルムサービスステーションに直接お越しいただいたお客様を対象に、30分を目安にその場で修理し、お渡しするサービスです。
・専任技術者が対応しますので、迅速な修理を行うことができます。
・特急修理のための特別なサービス料金は不要。ただし有償修理の場合には、別途修理料金が必要です。修理料金は、修理完了品お引き取り時にサービスステーション窓口でお支払いください。
・本書に地図の記載がないサービスステーション所在地は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/ss）をご覧ください。
※本サービスの詳細は、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/faq/fxts30/index.html）をご覧ください。

東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022	東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002	札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008	名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816	広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

●【FinePixクイックリペアサービス】：お預かりからお届けまでが3日の宅配修理サービスです。

・「お預かり」-「梱包」-「修理」-「お届け」までをワンパックにしたサービスです。
・当社指定の宅配業者が、ご指定の日時にお預かりに伺い、修理完了後にご自宅までお届けします。
・全国一律のサービス料金（保証期間内外を問わずお客様にご負担いただきます。また有償修理の場合には、別途修理料金が必要です）。
・料金の支払いは、修理品お届け時に、当社指定宅配業者に直接現金でお支払いください。
・サービスの申し込みは、インターネット、電話、ファクスのいずれかの方法から選択してください。
＊インターネット：http://repairlt.fujifilm.co.jp/quick/index.php　＊専用電話：03-3436-2224　＊専用ファクス：03-3431-3470

●【持込修理】：サービスステーションに直接お持ちいただく場合

・上記7カ所のサービスステーションで受け付けております。お持ちいただく際には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は、修理完了品お引き取り時、サービスステーション窓口でお支払いください。

●【送付修理】：サービスステーションに直接送付いただく場合

・上記7カ所のサービスステーションで受け付けております。送付時には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は、代金引き換えとなりますので、修理完了品運送業者に直接お渡しください。

■修理に関する情報は…

● 修理サービスQ&A

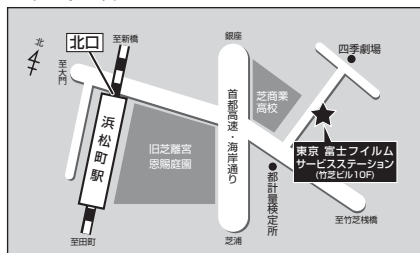
・修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。
※詳細は弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/faq/after/index.html）をご覧ください。

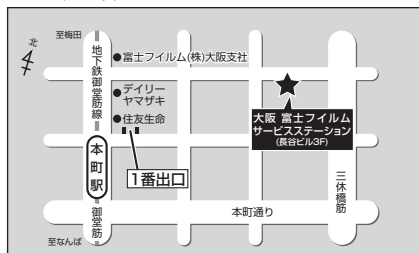
● 修理納期検索サービス

・東京もしくは大阪のサービスステーションに、修理品を送付あるいは持ち込みされた場合に限り、
弊社ホームページ（http://repairlt.fujifilm.co.jp/repair/certificate.jsp）で修理完了予定日を検索することができます。

● FinePix修理概算見積もりサービス

・弊社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金が、インターネット上で無料で算出することができます。
※本サービスの詳細は弊社ホームページ（http://repairlt.fujifilm.co.jp/estimate/index.php）をご覧ください。

★東　京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分
TEL（03）3436-1315
【受付時間】
月～金　午前 9：00～午後5：40
土　　　午前10：00～午後5：00

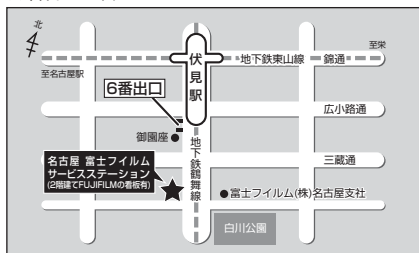
★大　阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分
TEL（06）6260-0915
【受付時間】
月～金　午前 9：00～午後5：40
土　　　午前10：00～午後5：00

FinePix E510 修理依頼票

※弊社サービスステーションに故障品の送付あるいはお持込みの際には、お手数をおかけして申し訳ありませんが、迅速、適切な修理をするために必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
※下表の□は、該当する項目にチェック（✓）を入れてください。

フリガナ		電話番号	
お名前		ファクス番号	
ご住所	〒　　―		
ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある8けたの番号です。 修理お問い合わせ時にご連絡ください。	No.		
修理品への添付	□保証書　□xD-ピクチャーカード（　　MB）　□電池 □（　　）　□（　　） □（　　）　□（　　）		
故障内容（故障時の様子や発生頻度、症状など具体的にご記入ください。）			
お見積もり	□インターネットでの修理概算見積もりサービスを使用したので不要 （使用結果を下段にご記入ください） □必要（修理金額　　　　円以上見積もり）　□不要		
修理概算見積もりサービス使用結果 ※インターネットで見積もりサービスを使用された場合にご記入ください。	故障現象： 修理費用：		
お見積もり連絡方法	□電話　□ファクス		

※本紙は拡大コピーしてお使いください。

★名古屋：富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分
TEL（052）202-1851
【受付時間】
月～金　午前 9：00～午後5：40
土　　　午前10：00～午後5：00

富士写真フイルム株式会社

●本製品に関するお問い合わせは…

富士フイルムFinePixサポートセンター

ナビダイヤル 市内通話料でOK® 0570-00-1060 / 携帯電話・PHSからは 0424-81-1673

市内通話料金でご利用いただけます

月曜日～金曜日　午前9：00～午後5：40　土曜日　午前10：00～午後5：00　日祝祭日　休み

※曜日、時間帯によっては電話がかかりづらい場合がありますのでご了承ください。

FAX 0424-81-0162

受付時間：24時間（返信対応は電話の受付時間と同一です）

●本製品の関連情報は、下記のホームページをご覧ください。

http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

弊社ホームページの自己解決に役立つ「Ｑ＆Ａ検索」もご利用ください。

●修理の受付は…

富士フイルムサービスステーションでは、お客様の利便性向上のため各種の修理サービスを用意しております。
お気軽にご利用ください。

■お急ぎの場合は、全国どこからでも

【FinePix クイックリペアサービス】：お預かりからお届け迄が3日の宅配修理サービス

■お近くにサービスステーションがあれば

【FinePix 特急修理30分】：30分を目安にその場で修理を行う持込修理サービス

※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。

●本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター（月曜日～金曜日　午前9：30～午後5：00）TEL 03-3406-2982

この用紙は、再生紙を使用しています。

FGS-406106-FG